

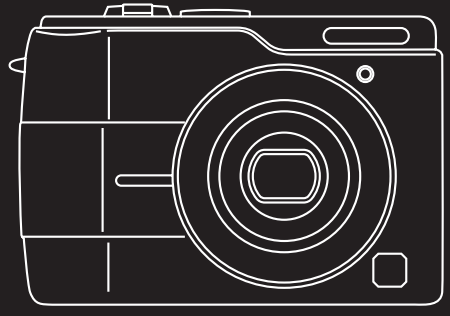
Panasonic

取扱説明書

デジタルカメラ

品番 DMC-LS1

LUMIX



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、デジタルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（87 ～ 93 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0Q57

もくじ

はじめに

クイックガイド 4
使う前に（まずお読みください） 6
故障を防ぐために 7
付属品 8

準備

各部の名前 9
本書について 10
電池について 11
電池を入れる・取り出す 15
カード（別売）を入れる・取り出す 16
内蔵メモリー / カードについて 17
記録画素数と記録枚数について 19
時計を設定する 20
日付プリントについて 21
セットアップメニューについて 22
液晶モニターの表示を切り換える 26

撮る・基本

撮影する（通常撮影モード） 28
かんたんモードで撮る 32
撮影した画像を確認する（レビュー） 34
大きく（望遠：T）
または広く（広角：W）撮る 35
フラッシュを使って撮る 36
セルフタイマーを使って撮る 39
露出を補正して撮る 40
露出を自動的に変えながら撮る
（オートブラケット撮影） 41
手ぶれを補正して撮る 42
連写にして撮る 43

見る・基本

画像を再生する（再生モード） 44
画像を９画面表示にする（マルチ再生） 45
再生画面を拡大する（再生ズーム） 46
画像を削除する 47

撮る・応用

消費電力を節約して撮る（エコモード） 49
接近して撮る（マクロモード） 49
動画を撮る（動画撮影モード） 50
シーンモードで撮る 52
ポートレートモード 53
スポーツモード 53
風景モード 53
夜景モード 54
夜景ポートレートモード 54

花火モード 55
パーティーモード 55
雪 モード 55

撮影メニュー設定

撮影メニューを使う 56
ホワイトバランス 57
ISO 感度 59
記録画素数 59
クオリティ 60
AF モード 60
スローシャッター 61
デジタルズーム 62
カラーエフェクト 62
画質調整 62

見る・応用

動画を再生する 63
再生メニューを使う 64
回転表示 65
画像回転 66
プロテクト 67
DPOF（ディーポフ） プリント 69
スライドショー 71
リサイズ 72
トリミング 73
コピー 74
フォーマット 76
テレビで画像を再生する 77

パソコン・プリンターとの接続

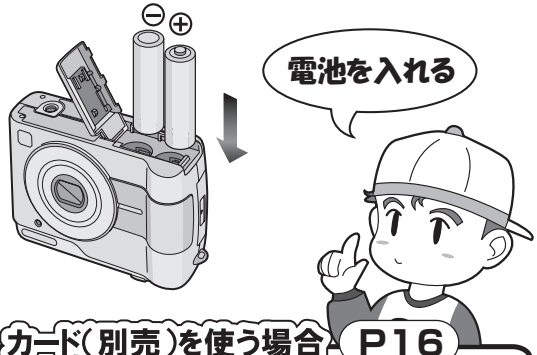
パソコンやプリンターと接続する前に 78
パソコンと接続する 79
PictBridge（ピクトブリッジ） 対応プリンターに
接続してプリントする 81

その他

液晶モニターの表示 85
安全上のご注意 （必ずお守りください） 87
使用上のお願い 94
メッセージ表示 97
故障かな？と思ったら 99
仕様 103
さくいん 106
保証とアフターサービス
（よくお読みください） 108

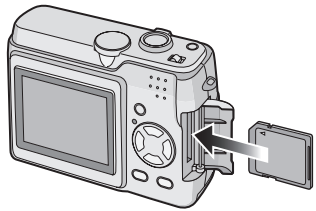
クイックガイド

電池を入れる P11、15



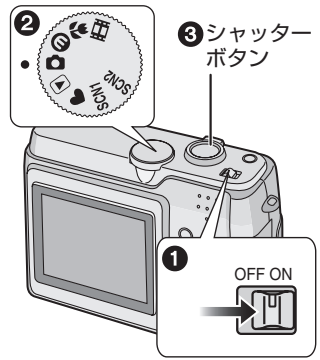
カード（別売）を使う場合 P16

カードを使用していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。（P 17）



撮影する P28

撮影する前に、時計設定[ ]（P20）をしてから電池設定[ ]（P22）をしてください。



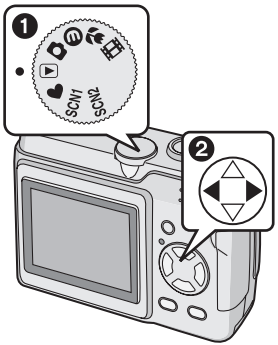
❶ 電源を [ON] にする

❷ モードダイヤルを [📷] に合わせる

❸ シャッターボタンを押して撮影する

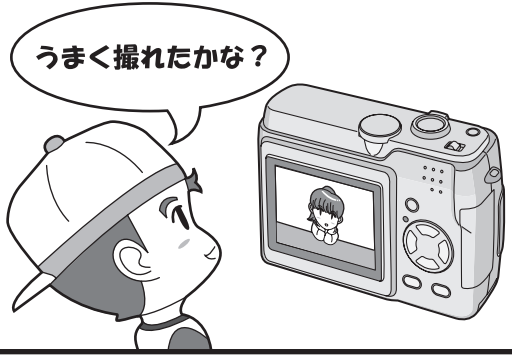


撮影した画像を見る P44



❶ モードダイヤルを再生モード[▶]に合わせる

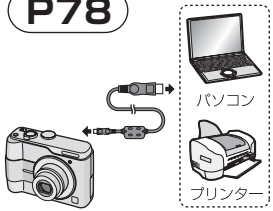
❷ 見たい画像を表示する



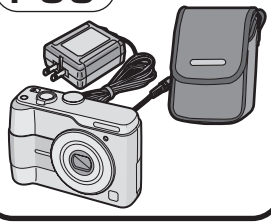
日付をプリントする P21、70



パソコン・プリンターとの接続 P78



別売アクセサリー P96



更に詳しい情報はホームページをご覧ください。

http://panasonic.jp

使う前に まずお読みください

事前に必ずセットアップメニューの［ 電池設定 ］(P22) で使用する電池を設定してください
その設定後、ためし撮りをしてください（4 ページのクイックガイドを参照してください）
大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません
本機およびカードの不具合で撮影されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権にお気を付けください
あなたが撮影したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

カードの画像について
- 以下の場合、本機で再生できない場合があります。
  - 他機で記録、作成した画像
  - パソコンで編集された画像
- 本機で記録、作成した画像は他機で再生できない場合がありますので、あらかじめお確かめください。

本機で使用できるカードは
SD メモリーカード、マルチメディアカードです。
- 本書では SD メモリーカードとマルチメディアカードを「カード」と記載しています。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SD ロゴは商標です。
- Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Computer Inc.の登録商標または商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は米国および他の国々で登録された商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

故障を防ぐために

■ 本機の取り扱いについて

- **本機に強い振動や衝撃を与えないでください。**誤動作したり、画像が記録できなくなる可能性があります。また、レンズが破壊される可能性があります。
- **砂やほこりは、本機の故障につながります。浜辺などで使うときは、レンズ部内部や端子部に砂やほこりが入らないようにしてください。**
- 雨の日や浜辺などで撮影するときは、本機をぬらさないようにお気を付けください。
- **万一水や海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。**

■ 液晶モニターについて

- **液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。**
- 温度差が激しい場所では、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

■ レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気を付けください。

■ つゆつきについて（レンズがくもるとき）

つゆつきは、下記のように温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気を付けください。

- 寒い屋外から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 車外から冷房の効いた車などに持ち込んだとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっているとき
- 湿気がたち込めるなど、湿度の高いところ

つゆつきの発生を防ぐためにビニール袋に入れて周囲の気温になじませてください。万一つゆつきが起こった場合、電源を [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

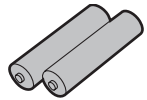
■ 長期間使用しないときは

- 電池は涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  （推奨温度:15 ℃～25 ℃、推奨湿度:40 %～60 %です）
- 電池とカードは必ず本機から取り出してください。
- 電池を入れたままにしておくと、本機の電源が [OFF] であっても、絶えず微少電流が流れているので、電池が放電します。（ニッケル水素電池については 13 ページを参照してください）
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

付属品

本機をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。
記載の品番は 2005 年 2 月現在のものです。

■ 単 3 形オキシライド乾電池（2 本）



■ ビデオケーブル
K1HA08CD0006



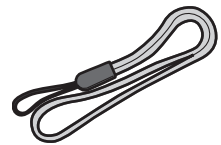
■ USB 接続ケーブル
K1HA08CD0004



■ CD-ROM

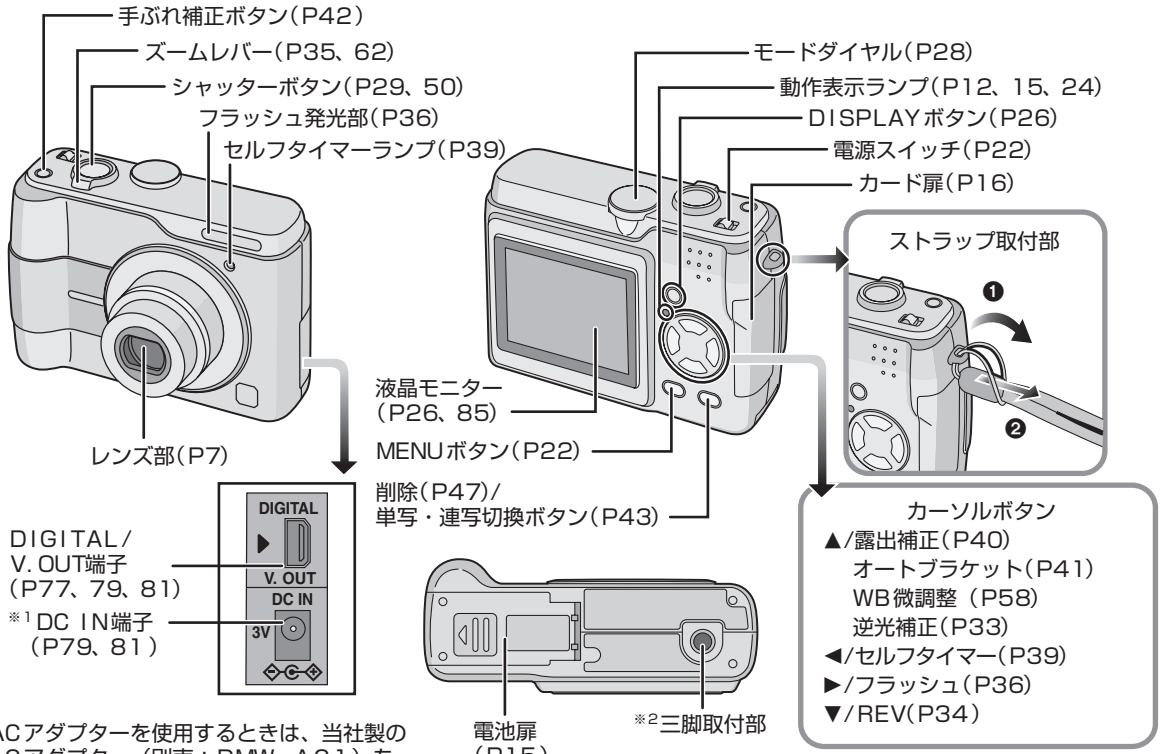


■ ストラップ
VFC4090



- 付属品をなくされたときは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（P110 ～ 111）にお問い合わせください。
- SD メモリーカードは別売です。**カードを使用していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。（P17）**
- 別売アクセサリーについては96ページを参照してください。

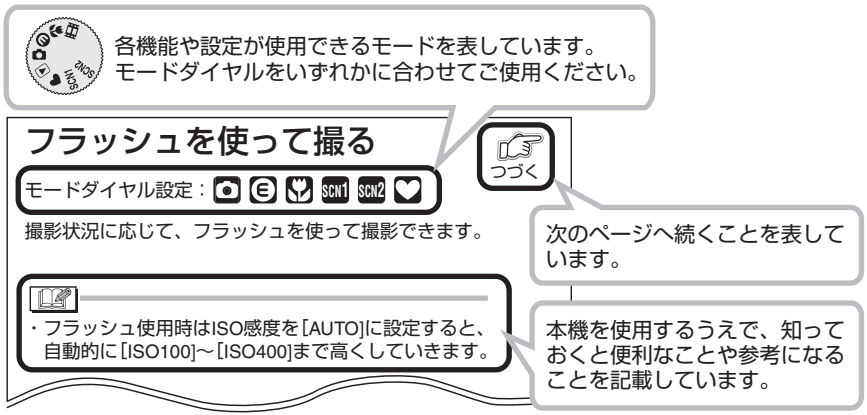
各部の名前



※1 ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW−AC1)を使用してください。

※2三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることをご確認ください。

本書について



このページは説明のためのサンプルですので、実際のページとは異なります。ご了承ください。

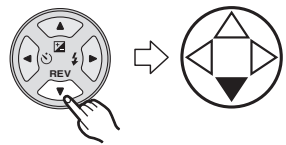
■ 本書内のイラスト表示について

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

■ カーソルボタンのイラストについて

本書ではカーソルボタンを図のように説明しています。

例：▼ボタンを押すとき



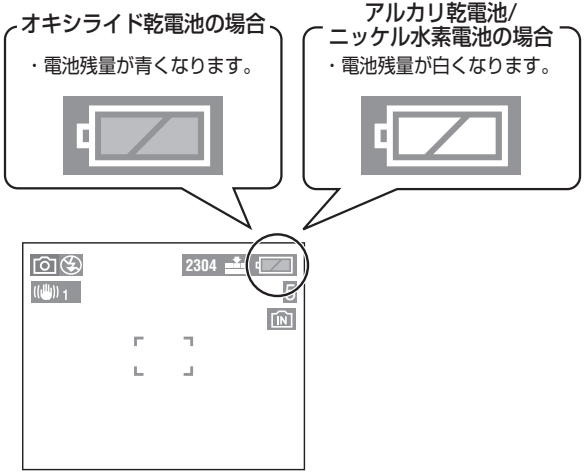
電池について

つづく

■ 使用できる電池について

○ 単3形オキシライド乾電池（付属）※
○ 単3形アルカリ乾電池（別売）
○ 単3形充電式ニッケル水素電池（別売）

- **使用する電池に合わせて、電池の種類を設定する必要があります。セットアップメニューの [電池設定] (P22) で使用する電池を設定してください。設定は、電池残量の色（青または白）で判別できます。**
  - ACアダプター（別売：DMW-AC1）につないで使うときは表示されません。



※オキシライド乾電池は、Panasonic が開発した新しいタイプの乾電池です。オキシライド乾電池はアルカリ乾電池より高出力で、デジタルカメラなどの負荷が高い機器での使用に適しています。

- Panasonic 製電池の使用をおすすめします。
- 電池の銘柄や製造日からの保存期間･保存状態によって、性能が大きく異なる場合があります。
- 電池は低温時（１０℃以下）には一時的に性能が低下しますが、常温に戻ると回復します。
- 使用温度や使用条件によっては、誤動作を起こしたり、電池残量が正しく表示されずに電源が切れる場合がありますが、異常ではありません。
- 電池を長持ちさせるために、撮影の合間には電源をこまめに切ることをおすすめします。長時間使用するときは、ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- 一度使い切った電池は、しばらく放置すると性能が回復することがありますが、またすぐに使えなくなりますので、必ず新しい電池と交換してください。

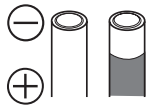
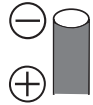
■ 使用できない電池について

× マンガン乾電池	× リチウム電池
× ニッケル乾電池	× ニッカド電池

- 上記の電池は動作保証しておりません。また液もれや以下のような誤動作を起こす場合があります。
  - 電池残量が正しく表示されない
  - 電源が入らない
  - 内蔵メモリーやカードのデータが破壊される

■ 使用できない形状の電池について

- 本機に入れると、液もれ、発熱、破裂の原因になります。
- 市販されている電池の中には、外装シールの一部またはすべてが覆われていない電池がありますので、絶対に使用しないでください。（下図を参照してください）

● 外装シールをすべてはがされている電池（裸電池）、または一部がはがされている電池	● ⊖ 極が平らな電池
	

■ 電池残量について

電池残量が液晶モニターに表示されます。[AC アダプター（別売：DMW-AC1）につないで使うときは表示されません]



表示が赤色に変わり点滅します。
（液晶モニターが消灯しているときは、動作表示ランプが点滅します）
新しい電池または満充電されたニッケル水素電池と交換してください。

■ 電池の取り扱いについて

電池の取り扱いを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の原因になることがあります。以下のことをお守りください。
また、87 ～ 93 ページの「安全上のご注意」と合わせてお読みください。

- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 外装シールをはがしたり、傷を付けないでください。
- 落としたりぶつけたりするなど、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれ、変形、変色、その他異常に気付いたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手が届く範囲に放置しないでください。
- 電池を交換するときは、2 本とも同種類の新しい電池に交換してください。
- 本機を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 使用直後の電池は高温になっている場合があります。電池の取り出しは電源を [OFF] にして、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 低温時（10 ℃以下）は電池の性能が低下し、撮影 / 再生時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池使用時は短くなる傾向があるため、ポケットの中などで温めてから使用してください。電池をポケットなどで温める場合、ライターなどの金属類やカイロに直接電池が触れないようお気を付けください。

- ⊕⊖ 極に皮脂などの汚れがあると、撮影 / 再生時間が極端に短くなる場合があります。電池を入れる前に ⊕⊖ 極を乾いた柔かい布でていねいにふいてください。

万一、液もれが発生したときは、電池挿入部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池または満充電されたニッケル水素電池を入れてください。

液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■ 充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ただし、取り扱いを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の原因になることがあります。以下のことをお守りください。

- ⊕⊖ 極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。⊕⊖ 極と充電器の端子を乾いた柔かい布でていねいにふいてください。
- お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります。（メモリー効果といいます）
- メモリー効果が発生したときは、撮影または再生できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下します。
- 充電したニッケル水素電池を連続して充電しないでください。
- 外装シールをはがしたり、傷を付けないでください。
- お使いの充電器の説明書をお読みください。

ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて、電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われます。新しい電池をお買い求めください。

- 寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。

長期間使用しないときは

- 電池を入れたままにしておくと、本機の電源が [OFF] であっても、絶えず微小電流が流れているので電池が放電します。そのままにしておくと過放電になり、充電しても電池が使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、電池残量がなくなったあと、本機から取り外して再保管することをおすすめします。

■ 電池寿命について

CIPA 規格による撮影枚数（通常撮影モード時）

- CIPA は、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。

使用する電池	撮影可能枚数
付属の電池または別売の Panasonic オキシライド乾電池	約 215 枚（約 107 分相当）
Panasonic アルカリ乾電池（別売）	約 140 枚（約 70 分相当）
満充電された Panasonic ニッケル水素電池（別売：HHR-3SPS）	約 370 枚（約 185 分相当）

CIPA 規格による撮影条件

- 温度 23 ℃ / 湿度 50%、液晶モニターを点灯
- 当社製の SD メモリーカード（16 MB）※使用
- 電源を入れてから 30 秒経過後、撮影を開始
- **30 秒間隔で 1 回撮影**、フラッシュを 2 回に 1 回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10 枚撮影ごとに電源を切り、電池の温度が下がるまで放置

※カードは付属していません。

撮影枚数は撮影間隔によって変わります。
撮影間隔が長くなると撮影枚数は減少します。

- **例えば 2 分に 1 回撮影した場合は、上記（30 秒に 1 回撮影）の枚数の約 1/4 になります。**

低温時の撮影枚数（通常撮影モード時）

（温度 0 ℃、その他の撮影条件は左記 CIPA 規格と同じ）

使用する電池	撮影可能枚数
付属の電池または別売の Panasonic オキシライド乾電池	約 35 枚（約 17 分相当）
Panasonic アルカリ乾電池（別売）	約 30 枚（約 15 分相当）
満充電された Panasonic ニッケル水素電池（別売：HHR-3SPS）	約 340 枚（約 170 分相当）

- オキシライド乾電池やアルカリ乾電池は、低温時に著しく性能が低下しますので、お気を付けください。

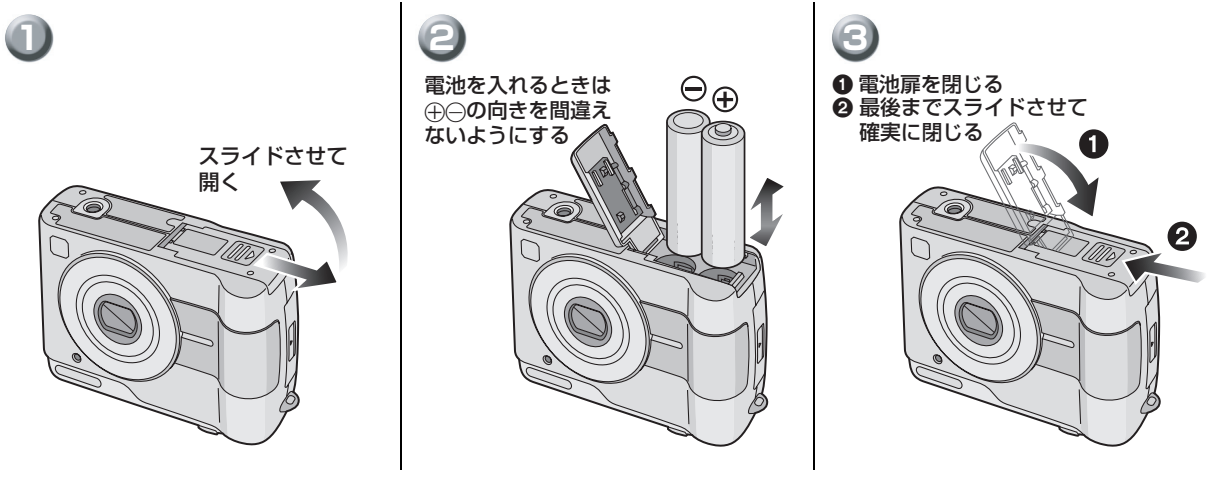
再生時間

使用する電池	再生時間
付属の電池または市販の Panasonic オキシライド乾電池	約 400 分
Panasonic アルカリ乾電池（別売）	約 390 分
満充電された Panasonic ニッケル水素電池（別売：HHR-3SPS）	約 470 分

- 撮影枚数、再生時間は電池の保存状態や使用条件によって多少変わります。
- 使用する電池の銘柄、種類によっては撮影枚数、再生時間は異なります。
- 電池を長持ちさせるため、パワーセーブ（P22）やエコモード（P49）を使用したり、撮影の合間は電源をこまめに切ることをおすすめします。

電池を入れる・取り出す

- 電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。
- オキシライド乾電池（付属）、アルカリ乾電池（別売）またはニッケル水素電池（別売）を使用する。

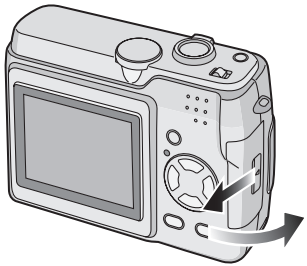


- **セットアップメニューの [電池設定]（P22）で使用する電池を設定してください。**
- 本機を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 新しい電池または満充電されたニッケル水素電池を挿入して約 3 時間経過すると、電池を取り出して放置しても、約3ヵ月は時計設定を記憶しています。（容量が十分でない電池を挿入した場合は、記憶時間は短くなることがあります）しかしそれ以上時間が経過すると設定が消えますので、もう一度時計を設定してください。（P20）
- **内蔵メモリーやカードのデータが破壊される可能性がありますので、アクセス中はカードや電池を取り出さないでください。（P18）**
- **カメラの設定が正しく保存されない可能性がありますので、液晶モニターと動作表示ランプ（緑）が消灯してから電池を取り出してください。**

カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。
- SD メモリーカード（別売）またはマルチメディアカード（別売）を用意する。
- **カードを使用していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。（P17）**

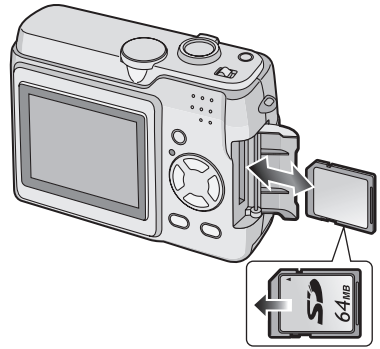
1



スライドさせて
開く

- **電源を [ON] にしたままカードを入れたり、取り出したりすると、カードやカードのデータが壊れる原因になることがあります。**
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。（正規カード以外は使用しないでください）

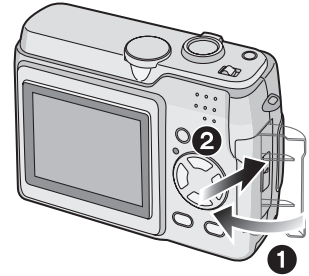
2



入れるときは、「カチッ」と音がし、ロックするまで奥まで入れる
取り出すときは「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- カードの向きを確認してください。
- カードの裏の接続端子部に触れないでください。
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

3



❶ カード扉を閉じる
❷ 最後までスライドさせて確実に閉じる

- カード扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出してから、もう一度入れ直してください。

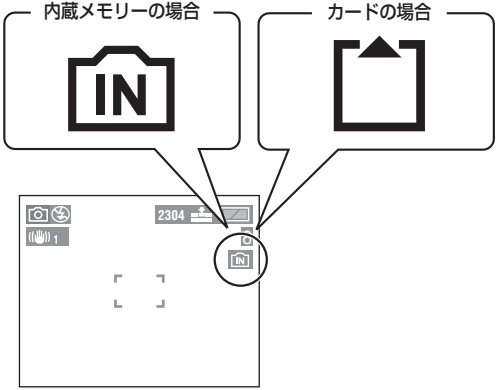
内蔵メモリー / カードについて

つづく

■ 内蔵メモリーについて (IN)
カードを使用していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。
(内蔵メモリーの容量は約 14 MB です)

■ カードについて ( )
カードを使用している場合は、カードで画像の記録や再生ができます。
(カードを入れているときは内蔵メモリーは使えません)

画面に表示されるアイコン



※内蔵メモリーやカードに記録された画像データは内蔵メモリーからカードへ、またはカードから内蔵メモリーへコピーすることができます。(P74)

SD メモリーカード (別売) と マルチメディアカード (別売) について



SDメモリーカードとマルチメディアカードは小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。
SD メモリーカードは記録 / 読み出し速度が速く、カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。(スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなり、戻すと可能になります)

- 本機では、以下の容量(8 MB ～ 1 GB まで)の SD メモリーカードが使用できます。

8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、
128 MB、256 MB、512 MB、1 GB まで

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

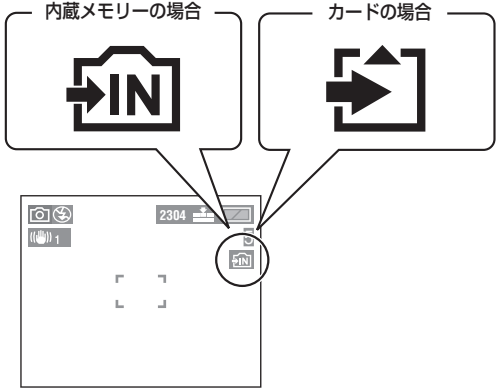
- 本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされた SD メモリーカードに対応しています。
- マルチメディアカードを使う場合、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。

■miniSD™ カード(別売)について

- miniSD™ カードを本機で使用する場合は、専用の miniSD™ アダプターを必ず装着してお使いください。
- miniSD™ アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。 必ず miniSD™ カードを入れてお使いください。

アクセス中は・・・

内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く点灯します。



アクセス表示が点灯しているときや、画像の読み出し、画像削除や内蔵メモリー（またはカード）のフォーマット中などは、以下のことをお守りください。

- 電源を [OFF] にしない
- 電池やカード（カードを使用している場合）を取り出さない
- 本機に振動や衝撃を与えない
- AC アダプター（別売：DMW-AC1）を抜かない（AC アダプター使用時）

カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。

- **内蔵メモリー（約 14 MB）は、カード使用時にカードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。**
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- カードより内蔵メモリーの方がアクセス時間が長い場合があります。（最大約 7 秒）
- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P76）

記録画素数と記録枚数について

	記録画素数	2304×1728		1600×1200		1280×960	
	クオリティ	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
内蔵メモリー（約 14 MB）		約 8 枚	約 15 枚	約 14 枚	約 27 枚	約 22 枚	約 40 枚
SD メモリーカード	16 MB	約 8 枚	約 16 枚	約 14 枚	約 28 枚	約 22 枚	約 41 枚
	32 MB	約 17 枚	約 33 枚	約 31 枚	約 59 枚	約 47 枚	約 86 枚
	64 MB	約 35 枚	約 69 枚	約 63 枚	約 121 枚	約 96 枚	約 176 枚
	128 MB	約 71 枚	約 139 枚	約 128 枚	約 244 枚	約 195 枚	約 356 枚
	256 MB	約 139 枚	約 272 枚	約 250 枚	約 476 枚	約 381 枚	約 693 枚
	512 MB	約 277 枚	約 539 枚	約 495 枚	約 944 枚	約 755 枚	約 1373 枚
	1 GB	約 554 枚	約 1079 枚	約 991 枚	約 1889 枚	約 1511 枚	約 2748 枚

	記録画素数	640×480		1920×1080（HDTV）	
	クオリティ	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
内蔵メモリー（約 14 MB）		約 68 枚	約 111 枚	約 13 枚	約 25 枚
SD メモリーカード	16 MB	約 69 枚	約 113 枚	約 13 枚	約 25 枚
	32 MB	約 145 枚	約 236 枚	約 28 枚	約 54 枚
	64 MB	約 298 枚	約 484 枚	約 58 枚	約 110 枚
	128 MB	約 602 枚	約 979 枚	約 118 枚	約 223 枚
	256 MB	約 1173 枚	約 1906 枚	約 231 枚	約 435 枚
	512 MB	約 2324 枚	約 3777 枚	約 457 枚	約 863 枚
	1 GB	約 4650 枚	約 7557 枚	約 916 枚	約 1727 枚

- 大きい記録画素数を選ぶと、鮮明にプリントすることができます。小さい記録画素数を選ぶと、より多く記録できます。
- 記録枚数はめやすです。（ファイン、スタンダード混在時は変化します）
- 被写体により記録枚数は変動します。
- 液晶モニターに表示される残り枚数は、撮影された枚数分減少しない場合があります。

時計を設定する

■ お買い上げ時は・・・
時計設定はされていませんので、電源を [ON] にすると、下のような画面が表示されます。



- [MENU] ボタンを押すと ❶ の画面が表示されます。
- 約5秒経過すると画面が消えますので、電源を入れ直すか、セットアップメニューから [時計設定] を選んで設定してください。（P22）

❶





年月日と時刻を合わせる

- ◀/▶：合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選ぶ
- ▲/▼：年月日、時刻を設定する

❷





表示の順番を選ぶ

- 表示順を変えると、以下のように表示されます。
（例;2005年12 月1日10時00分）
[年/月/日]: 2005.12.1 10:00
[日/月/年]: 10:00 1.DEC.2005
[月/日/年]: 10:00 DEC.1.2005
- 設定終了後、[MENU]ボタンを2回押して、メニューを終了してください。
- そのあと、一度電源を[OFF]にしてからもう一度 [ON] にして、設定どおり表示されているか確認してください。

- 新しい電池または満充電されたニッケル水素電池を挿入して約3時間経過すると、電池を取り出して放置しても、約 3ヵ月は時計設定を記憶しています。（容量が十分でない電池を挿入した場合は記憶時間は短くなることがあります）しかしそれ以上時間が経過すると、設定が消えてしまいますので、もう一度時計を設定してください。
- 年は2000年から2099年まで設定できます。時刻は 24 時間表示です。
- 日付設定を行っていないと、お店にデジタルプリントを依頼するときに、日付を印刷することができませんのでお気を付けください。

日付プリントについて

日付プリントを設定する

DPOFプリント設定のプリント枚数設定時に[DISPLAY]ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。（P70）

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。

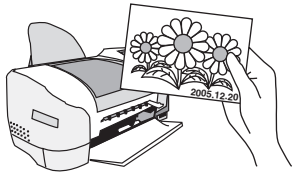
※お店によっては、DPOFプリント設定の日付を印刷できない場合があります。詳しくは、お店にお尋ねください。



自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、印刷するだけで日付プリントができます。（P81）

CD−ROM（付属）のソフトウェア「SD Viewer for DSC」をお使いの場合は、印刷プレビュー画面で日付位置の設定をすると日付入りで写真を印刷できます。詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

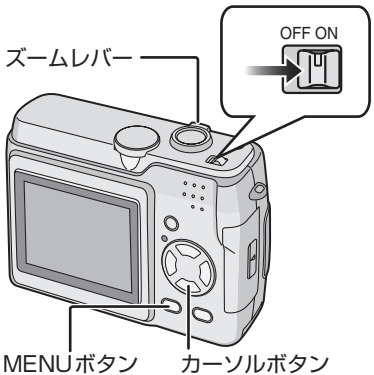


プリンター

セットアップメニューについて

- 必要に応じて設定してください。（各項目については 23 ～ 25 ページをお読みください）

① 電源スイッチを [ON] にする



- モードダイヤル（P28）で選んでいるモードによって、メニュー項目は異なります。
  ここでは、通常撮影モード [📷] 時の例で説明しています。

② メニュー画面を開く

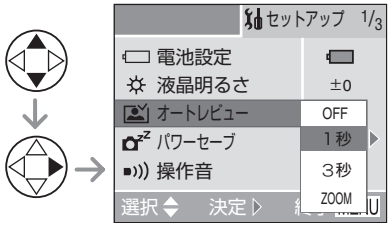


[セットアップ] を選ぶ
（オレンジ色表示にする）



- ズームレバーを回すと、1/3、2/3、3/3 とページが切り換わります。

③ 項目を選ぶ



設定する



最後に必ず ▶ で決定してください。

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押して、メニューを終了してください。撮影モード時は、シャッターボタンを半押ししても、メニューを終了することができます。

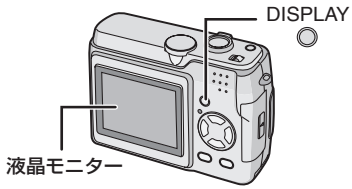
項目		設定内容
	電池設定	使用する電池の種類を以下の 2 種類から選んでください。 **アルカリ（LR6）/ ニッケル水素** **オキシライド（ZR6）** ● 使用する電池の種類と電池設定が合っていないと、電池残量が正しく表示されません。
☼	液晶明るさ	液晶の明るさを 7 段階で調整できます。
	オートレビュー	OFF： 撮影後に撮影画像が自動的に表示されません。 1秒： 撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。 3秒： 撮影後に撮影画像が約 3 秒間表示されます。 ZOOM：撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。そのあと、4 倍に拡大された画像が約 1 秒間表示されます。ピントの確認に便利です。連写、オートブラケットは、[ZOOM] に設定していても拡大されません。 ● 動画撮影モード [🎞] のときはオートレビューされません。 ● かんたんモード [♥]（P32）、連写 [📷][📷][📷]（P43）、オートブラケット撮影 [📷]（P41）のときは、オートレビューの設定に関わらず、オートレビューされます。（拡大はされません）
	パワーセーブ（エコモードを除く）	1分 /2分 /5分 /10分：設定した時間の間に何も操作しないと、パワーセーブモード（電源を自動的に切り、電池の寿命を延ばす）になります。 ● パワーセーブを解除するには、シャッターボタンを半押しするか、または電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。 ● AC アダプター（別売：DMW-AC1）使用時、パソコン接続時、プリンター接続時、動画撮影 / 再生時、スライドショー中はパワーセーブは働きません。 ● かんたんモード [♥]（P32）のときは [2分] に固定されます。

項目		設定内容
ECO	**エコモード（エコモードのみ）**	使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、電池の寿命を延ばします。(P49) (エコモードを解除するには、いずれかのボタンを押してください) **LEVEL 1：** 約 15 秒間何も操作をしないと、液晶モニターが消灯します。 **LEVEL 2：** 約 15 秒間何も操作しない、または撮影後約 5 秒間何も操作しないと、液晶モニターが消灯します。 ● 液晶モニター消灯中は動作表示ランプが点灯します。 ● エコモードでは、パワーセーブの設定時間が [2 分] に固定されます。
)))	**操作音**	🔇：操作音なし　🔉：操作音小　🔊：操作音大
🕘	**時計設定**	日付や時刻を変更するときに設定します。(P20)
0001	**番号リセット**	次に撮影される画像のファイル番号を 0001 から記録したい場合に設定します。 (フォルダー番号が更新され、ファイル番号が 0001 から始まります) ● フォルダー番号は 100 ～ 999 まで作成されます。 フォルダー番号が 999 になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。 ● フォルダー番号を100にリセットするには、まず内蔵メモリーまたはカードをフォーマット（P76）してから番号リセットを実行し、ファイル番号をリセットしてください。 そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい] を選んでフォルダー番号をリセットしてください。 ● ファイル番号、フォルダー番号について、詳しくは 80 ページを参照してください。
R	**設定リセット**	撮影設定またはセットアップ設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ● 再生メニューの [回転表示]（P65）もリセットされます。 ● 電池設定、フォルダー番号、時計設定の設定内容は変わりません。
USB	**USB モード**	USB の通信方式を設定します。 ● パソコンやプリンターに接続する前に設定してください。(P78)

項目		設定内容
	ビデオ出力 （再生モードのみ）	NTSC：ビデオ出力を NTSC 方式にします。 PAL： ビデオ出力を PAL 方式にします。（P96）
SCN	シーンメニュー	OFF： モードダイヤルを［SCN1］または、［SCN2］に合わせたとき、シーンメニューが表示されず、現在選択されているシーンモードで動作します。シーンモードを変更する場合は、[MENU] ボタンを押してシーンメニューを表示させてから、お好みのシーンモードを選択してください。 AUTO：モードダイヤルを［SCN1］または、［SCN2］に合わせたとき、シーンメニューが自動的に表示されます。お好みのシーンモードを選択してください。
i+	言語設定	メニュー画面は以下の２言語から設定できます。▲/▼ で言語を選び、► で決定してください。誤って英語に設定した場合は、メニューアイコンの［i+］を選び言語設定をしてください。 日本語： メニュー画面を日本語表記にします。 ENGLISH：メニュー画面を英語表記にします。

［電池設定］、［操作音］、［番号リセット］、［言語設定］は、かんたんモード［♥］にも反映されます。

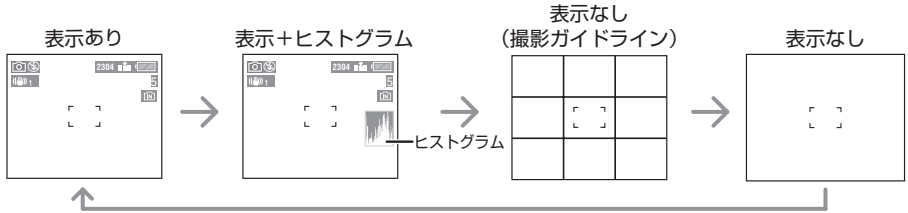
液晶モニターの表示を切り換える



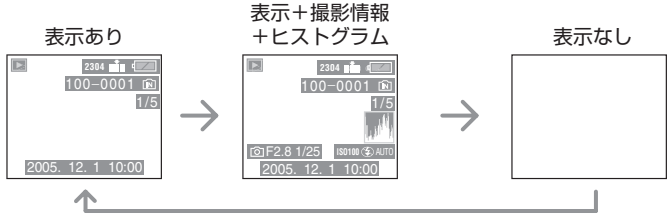
[DISPLAY] ボタンを押して切り換えてください。

- メニュー画面表示時は [DISPLAY] ボタンは働きません。マルチ再生時（P45）および再生ズーム時（P46）は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

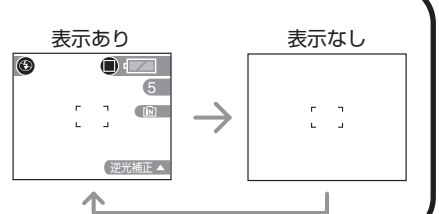
撮影時



再生時

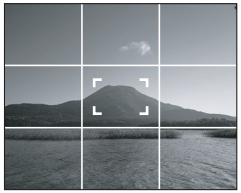


かんたんモード[❤]時



■ 撮影ガイドラインについて

被写体を縦横の交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

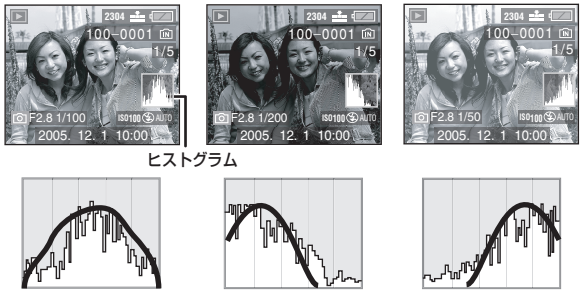


■ ヒストグラムについて

- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。
- 撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。
  - ❶ 中央を中心とした山になっている場合は、暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布した適正露出の画像となります。
  - ❷ 極端に左に寄っている場合は、暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。
  - ❸ 極端に右に寄っている場合は、明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

ヒストグラムの表示例

❶適正な明るさの画像　❷暗い画像　❸明るい画像



- **フラッシュ発光時や暗い場所での撮影時には、撮影画像とヒストグラムが一致しないため、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
- 動画撮影モード [🎞]、マルチ再生、再生ズーム時はヒストグラムは表示されません。
- 撮影時のヒストグラムはめやすです。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

撮影する（：通常撮影モード）

■ モードダイヤルについて



本機には撮影シーンに合わせて使用できるモードダイヤルがあります。お好みのモードを選んで、撮影のバリエーションを広げてお楽しみください。モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。（モードダイヤルは 360 度回転しますが、モードのない部分に合わせないでください）

通常撮影モード（P29）
通常はこのダイヤルに合わせて撮影します。

エコモード（P49）
消費電力を節約して撮影します。

マクロモード（P49）
被写体をアップにして撮りたいときに。

動画撮影モード（P50）
動画を撮影します。

SCN1 シーンモード 1、SCN2 シーンモード 2（P52）
撮影シーンに合わせて撮りたいときに。
セットアップメニューのシーンメニューを[OFF]にし（P22）、よく使うシーンモードを［SCN1］、［SCN2］のそれぞれのダイヤルに設定しておくこともできます。
すばやく選ぶことができ、また操作の手間を最小限にすることができ便利です。

かんたんモード（P32）
初心者におすすめのモードです。

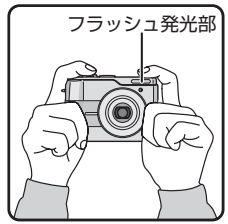
再生モード（P44）
撮った画像を再生します。

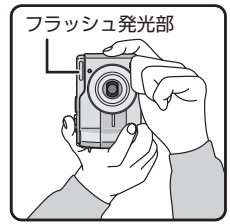
■ 上手に撮影するには

手持ちでぶれのない写真を撮影するために

- 両手で本機を軽く持ち、脇を閉め足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気を付けください。
- フラッシュ発光部を指などでふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。

横に構えて撮る場合　　縦に構えて撮る場合



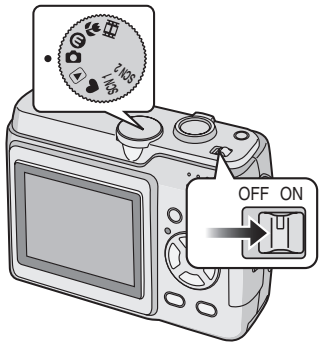


- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - 赤目軽減スローシンクロ（P36）
  - 夜景モード（P54）
  - 夜景ポートレートモード（P54）
  - 花火モード（P55）
  - パーティーモード（P55）
  - スローシャッター設定で、シャッタースピードを遅くした場合（P61）

モードダイヤル設定：

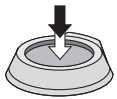
被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。

- 電源を [ON] にする。
- モードダイヤルを通常撮影 [📷] モードにする。



①





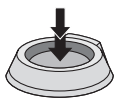
半押しでピントを合わせる

ピントを合わせたい位置に AF エリアを合わせ、半押しする

- フォーカス表示が点灯し、シャッタースピードと絞り値が表示されます。

②





全押しで撮影

撮影する

	ピントが合っていないとき	ピントが合ったとき
フォーカス表示	点滅（緑）	点灯（緑）
AF エリア	白→赤	白→緑
フォーカス音	ピ ピ ピ ピッ	ピピッ

■ AF/AE ロックについて



AF：「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能です。
AE：「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能です。

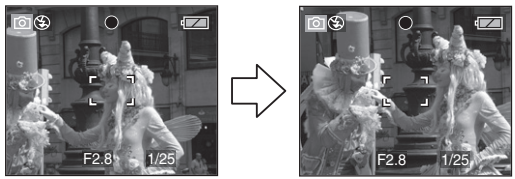
上のような構図で人物の写真を撮影したい場合、被写体がAF エリアから外れているので、そのままシャッターボタンを押すだけでは背景などにピントが合ってしまい、被写体にピントが合いません。

このようなときは、

❶ 被写体に AF エリアを合わせる
❷ シャッターボタンを半押しし、ピントと露出を固定する
- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。

❸ ピントと露出を固定したまま、撮りたい構図に本機を動かす
❹ シャッターボタンを全押しする

- AF/AE ロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。



■ ピントについて

- ピントが合う範囲は 50 cm ～∞です。
- シャッターボタンを一度に全押しすると、手ぶれをしたり、ピントが合わなかったりします。
- フォーカス表示が点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- 何度ピントを合わせようとしても合わない場合は、電源を [OFF] にしてから、もう一度 [ON] にしてください。
- 以下のような場合はピントがうまく合いません。
  ❶ 遠くと近くのものを同時に撮る
  ❷ 汚れたガラスの向こうのものを撮る
  ❸ キラキラと光るものが周りにある
  ❹ 暗い場所を撮る
  ❺ 動きの速いものを撮る
  ❻ コントラスト（濃淡）の低いものを撮る
  ❼ 手ぶれしている
  ❽ 高輝度（非常に明るいもの）を撮る
  AF/AE ロックを使って撮影することをおすすめします。
- フォーカス表示が出てピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。もう一度半押ししてピントを合わせてください。

■ 手ぶれについて

- シャッターボタンを押し込む際に、手ぶれにお気を付けください。
- シャッタースピードが遅くなり手ぶれしやすいときは、手ぶれ警告表示が出ます。



- 手ぶれ警告表示が出るときは、三脚の使用をおすすめします。または撮る姿勢（P28）にお気を付けください。

■ 縦位置検出機能について

- 本機を縦に構えて撮影した場合、回転情報が自動的に画像に付加されて記録されます。
  [回転表示]（P65）を [ON] にしておくと液晶モニターやテレビで再生するときに回転情報に従い画像を回転して表示させることができます。
- 本機を縦に構えて撮影する場合は、「上手に撮影するには」をよくお読みください。（P28）
- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影した画像では、縦位置検出機能が正しく機能しない場合があります。
- 動画撮影モード[🎞]では、縦位置検出機能が使えません。

■ 露出について

- 適正露出にならないときは、シャッターボタンを半押ししたときに、絞り値とシャッタースピードの数値の色が赤色になります。（ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません）



- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。液晶モニター上は暗く映りますが、実際は明るく撮影されます。
- 晴天の空や雪など、明るい被写体が画像の大半を占めると、暗く撮影される場合があります。その場合は、露出を補正してください。（P40）

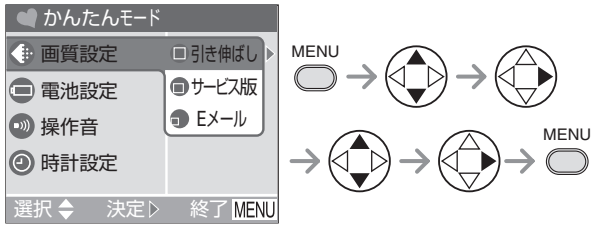
- シャッターボタンを押すと、一瞬液晶モニターの画面が明るくなったり、暗くなったりする場合があります。これはピントを合わせやすくするためで、記録される画像に影響はありません。
- 撮影前に、時計設定を確認することをおすすめします。（P20）
- パワーセーブ（P22）で、設定された時間内に本機の操作をしないと自動的に電源が切れます。再び本機の操作をするときは、シャッターボタンを半押しするか、電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
- 被写体までの距離が撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していてもピントが合っていない場合があります。

かんたんモードで撮る

モードダイヤル設定：

初心者の人でも簡単に撮れます。必要なメニューだけが表示されるので、迷うことがありません。

■ かんたんモードのメニュー設定



項目	設定内容
画質設定	● 引き伸ばし：A3やA4などの大きめのサイズにプリントするときに最適です。 ● サービス版：サービスサイズ（L版）の大きさにプリントするときに最適です。 ● Eメール：Eメールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに最適です。
電池設定	使用する電池を変更するときに設定します。(P22)
操作音	● OFF: 操作音なし ● 小　：操作音小 ● 大　：操作音大
時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。(P20)

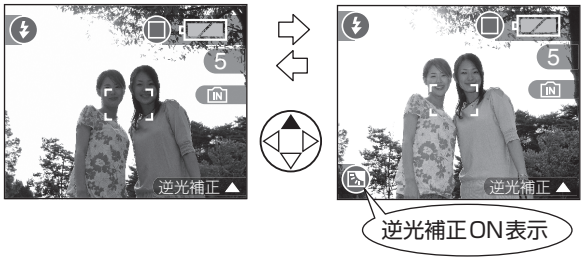
■ かんたんモード時の設定内容

かんたんモード時は、その他の設定項目が次のように固定されます。詳しくは、それぞれのページをお読みください。

項目	設定内容
撮影可能範囲	30 cm ～∞（T 端時） 5 cm ～∞（W 端時）
液晶明るさ（P22）	標準 [0]
オートレビュー(P22)	1 秒
パワーセーブ（P22）	2 分
セルフタイマー(P39)	10 秒
手ぶれ補正（P42）	MODE2
連写速度（P43）	低速（2 コマ / 秒）
ホワイトバランス(P57)	AUTO
ISO 感度（P59）	AUTO
画質設定（記録画素数 / クオリティ）（P59、60 ）	● 引き伸ばし：2304×1728 画素 / ファイン ● サービス版：1600×1200画素/スタンダード ● Eメール：640×480 画素 / スタンダード
AF モード（P60）	1 点
スローシャッター(P61)	1/8 –

■ 逆光補正機能

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。
このとき、人物など被写体が暗く写ります。
▲ を押すと、[ ]（逆光補正 ON 表示）が表示され、逆光補正が働きます。画像全体を明るくすることにより、逆光を補正します。



- [ ] が表示されているときに ▲ を押すと、[ ] が消え、逆光補正が解除されます。
- 逆光補正機能使用時は、フラッシュを使用することをおすすめします。

- [電池設定]、[操作音]、[時計設定]のかんたんモードでの設定内容は、他の撮影モードにも反映されます。
- かんたんモード時は、次の設定ができません。
  - 番号リセット
  - 設定リセット
  - USB モード
  - ビデオ出力
  - 言語設定

  ただし、セットアップメニュー（P22）での [番号リセット]、[言語設定] は、かんたんモードにも反映されます。
- かんたんモード時は、次の機能が使えません。
  - ホワイトバランス微調整
  - 露出補正
  - オートブラケット
  - 記録画素数
  - クオリティ
  - デジタルズーム
  - カラーエフェクト
  - 画質調整

  ただし、[記録画素数] と [クオリティ] は、[画質設定] の設定に対応しています。

撮影した画像を確認する（レビュー）

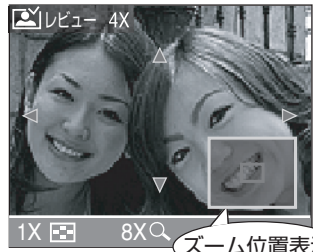
モードダイヤル設定：

①



- ▼を押すと最後に撮影した画像が約 10 秒間表示されます。
- シャッターボタンを半押し、または▼を押すとレビューが解除されます。
- ◀/▶ を押すと前後の画像を確認することができます。
- 撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎたりしたときは、露出を補正してください。（P40）

②

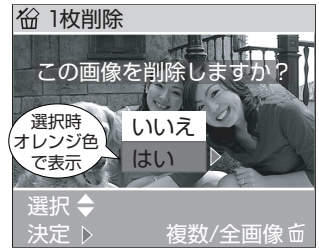




位置を移動する

- 倍率を変えたり、表示する位置を移動させると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。

撮影した画像をレビュー中に削除することもできます（クイック削除）



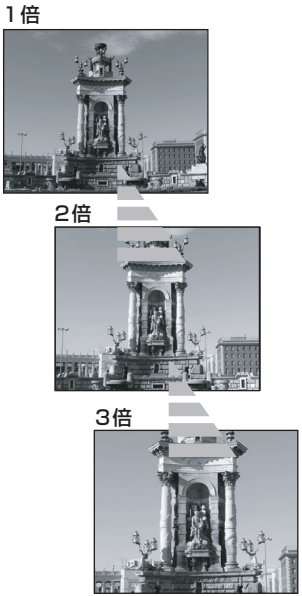


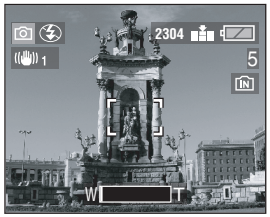
- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 複数・全画像削除もできます。削除の方法については47 ページをお読みください。

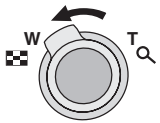
大きく（望遠：T）または広く（広角：W）撮る

モードダイヤル設定： 📷 Ⓔ 🌷 🎞 SCN1 SCN2 ♥

光学ズーム 3 倍までの範囲で、人や物を大きく撮ったり風景などを広角に撮ることができます。

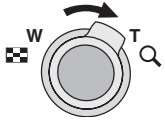






広く（広角）撮る





大きく（望遠）撮る

- 電源 [ON] 時は W 端（1 倍）です。
- 画像はレンズによってわずかにゆがんで撮影されます。
  これをディストーション（歪曲収差）といいます。
  広角にして近づくほどディストーションは大きくなります。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ズーム位置によって、レンズが伸び縮みします。
- ズーム中に、レンズの動きを妨げないようにお気を付けください。
- 動画撮影モード[🎞]時は、撮影を開始したときのズーム倍率に固定されます。

フラッシュを使って撮る

モードダイヤル設定：

撮影状況に応じてフラッシュを使って撮影できます。



■ フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。



選択できるフラッシュ設定については、37 ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をご覧ください。

項目	設定内容
：オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
：赤目軽減オート（白色）	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。そのときフラッシュが予備発光し、人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえ、そのあと、撮影のために再び発光します。 ● **フラッシュが 2 回発光します。1 回目は予備発光ですので、2 回目の発光終了まで動かないようにしてください。** ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
：強制発光 **：赤目軽減強制発光**	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。** ● **シーンモード（P52）のパーティーモード時のみ、赤目軽減強制発光になります。**
：赤目軽減スローシンクロ（オレンジ色）	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
：発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

つづく

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって、異なります。(○ : 設定可、× : 設定不可)

	ϟA	ϟA◎	ϟ	ϟ◎	ϟS◎	⊛
	○	○	○	×	○	○
	○	○	○	×	○	○
	○	○	○	×	○	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	○
	×	×	×	×	×	○
	×	×	×	×	○	○
	×	×	×	×	×	○
	×	×	×	○	○	○
	○	×	○	×	×	○
	×	○※	○	×	×	○

※逆光補正時は設定できません。

■ フラッシュで撮影できる範囲

ISO 感度	フラッシュ調光範囲	
	W 端時	T 端時
AUTO	約 30 cm ～ 4.2 m	約 30 cm ～ 2.4 m
ISO64	約 30 cm ～ 1.7 m	約 30 cm～90 cm
ISO100	約 30 cm ～ 2.1 m	約 30 cm ～ 1.2 m
ISO200	約 40 cm ～ 3.0 m	約 30 cm ～ 1.6 m
ISO400	約 60 cm ～ 4.2 m	約 40 cm ～ 2.4 m

- ピントが合う範囲については、30 ページをお読みください。
- ISO 感度については 59 ページをお読みください。
- フラッシュ使用時はISO感度を[AUTO]に設定すると、自動的に [ISO100] ～ [ISO400] まで高くしていきます。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くする（P59）、または [画質調整] を [ナチュラル] にする（P62）ことをおすすめします。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
：発光禁止	1/8※～ 1/2000 秒
	8 ～ 1/2000 秒 (夜景モード時)
：オート	1/60 ～ 1/2000 秒
：赤目軽減オート	1/60 ～ 1/2000 秒
：強制発光 ：赤目軽減強制発光	1/60 ～ 1/2000 秒
：赤目軽減スローシンクロ	1/8※～ 1/2000 秒

※スローシャッター設定（P61）により変わります。

■ フラッシュ使用時は･･･

- **近くでフラッシュ発光部を直接見ないでください。**
- **フラッシュに物を近付けると熱や光で変形、変色する場合があります。**
- **フラッシュ発光部を指などでふさがないでください。**
- **フラッシュを充電している間、液晶モニターが消灯し、撮影できません。動作表示ランプが点灯します。[AC アダプター（別売：DMW-AC1）使用時を除く]**
  電池残量が少ないと、液晶モニターの消灯時間が長くなる場合があります。
- フラッシュ調光範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュが発光しても撮影できない場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 手ぶれ警告表示が出ているときは、フラッシュの使用をおすすめします。
- 連写およびオートブラケット設定時でフラッシュが発光する場合、１枚しか撮影できません。
- フラッシュが発光する場合、シャッターボタンを半押ししたときにフラッシュマークが赤に変わります。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが[(晴天)は除く]、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。

セルフタイマーを使って撮る

モードダイヤル設定：

①



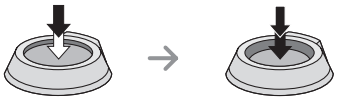
(10秒) (2秒)

表示なし(解除)

セルフタイマーを切り換える

②



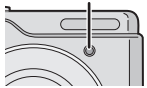


半押しでピントを合わせる

全押しで撮影

撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10秒（または2秒）後に撮影動作が開始されます。
- セルフタイマー動作中に [MENU] ボタンを押すと、セルフタイマー設定が解除されます。



- セルフタイマーを 2 秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。
- かんたんモード [♥] のときは、セルフタイマーが10秒に固定されます。
- 連写のときにセルフタイマーを設定すると 10 秒または、2 秒後に連写を行います。連写枚数は 3 枚固定になります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
  （三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定しているのをご確認してください）

露出を補正して撮る

モードダイヤル設定： 

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出オーバー



露出をマイナス方向に
補正してください。

適正露出



露出をプラス方向に
補正してください。

露出アンダー







▲ ボタンを数回押し、[露出補正] を表示させ、露出を補正する

- −2 EV から +2 EV の範囲で 1/3 EV ごとに補正できます。

- EV とは Exposure Value の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化すると EV が変化します。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- 露出補正値は、液晶モニターの左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を [OFF] にしても記憶しています。

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

モードダイヤル設定：    

1 回シャッターを押すと、露出の補正幅に従って自動的に 3 枚撮影します。
露出が異なる 3 枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット ±1 EVの場合

±0 EV

1枚目



−1 EV

2枚目



+1 EV

3枚目







▲ ボタンを数回押し、[オートブラケット] を表示させ、露出の補正幅を決める

- −1 EV から +1 EV の範囲で 1/3 EV ごとに選択できます。
- オートブラケット撮影をしない場合は [OFF] を選んでください。
- オートブラケットを設定すると、液晶モニターの左下に、オートブラケットのアイコンが表示されます。

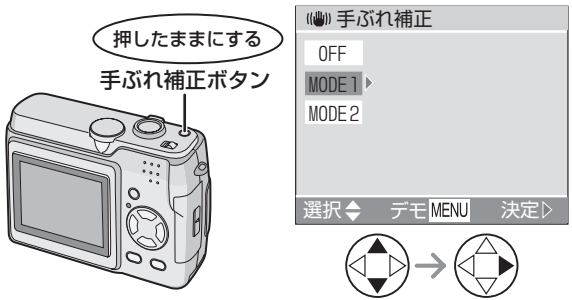
- 残り枚数が 2 枚以下の場合、オートブラケット撮影はできません。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- フラッシュが発光する場合は 1 枚しか撮影できません。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- オートブラケットを設定すると、オートレビューの設定に関わらずオートレビューされます。（拡大はされません）セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。

手ぶれを補正して撮る

モードダイヤル設定： 📷 Ⓔ 🌷 🎞 SCN1 SCN2

手ぶれを感知して補正します。特に望遠を使って撮影する場合やシャッタースピードが遅くなる室内での撮影時に有効です。

手ぶれ補正ボタンを押したままにすると、手ぶれ補正選択メニューが表示されます。



手ぶれ補正モードを選択してください。

- [MODE1] (( ))1 :
  撮影モード時、常時手ぶれを補正します。望遠などで構図を決めて撮影するときに安定して撮ることができます。
- [MODE2] (( ))2 :
  シャッターが切れる瞬間のみ手ぶれを補正します。
- [OFF] (( ))OFF :
  意図的にぶれのある画像を撮影したいときなどに設定します。

■ 手ぶれ補正デモについて（デモンストレーション）

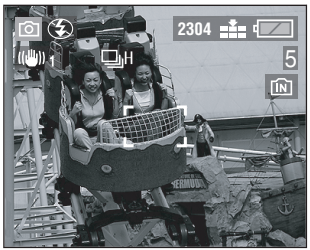
[MENU] ボタンを押すと、手ぶれ補正デモが表示され、終了すると手ぶれ補正モード選択メニューに戻ります。途中で終了する場合は、[MENU] ボタンを押してください。
手ぶれ補正デモ表示中は、W 端（1 倍）に固定され、ズーム操作はできません。また、撮影もできません。

- 以下の場合、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  - 手ぶれが大きいとき
  - デジタルズーム領域
  - 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - 夜景撮影など、シャッタースピードが極端に遅くなるとき

  シャッターボタンを押し込む際は、手ぶれにお気を付けください。
- かんたんモード [♥] では [MODE2] に固定され、手ぶれ補正選択メニューは表示されません。
- 動画撮影モード [🎞] 時は、[MODE2] に設定できません。

連写にして撮る

モードダイヤル設定：





連写設定を切り換えて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- セルフタイマー使用時の連写枚数は、3 枚固定になります。
- フラッシュが発光する場合は 1 枚しか撮影できません。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。

■ 連写枚数

		(高速)	(低速)	(フリー)
連写速度※		4 コマ / 秒	2 コマ / 秒	約 1.5 コマ / 秒
連写枚数	ファイン	最大 4 コマ	最大 4 コマ	内蔵メモリー/カードの空き容量による
	スタンダード	最大 7 コマ	最大 7 コマ	内蔵メモリー/カードの空き容量による

※シャッタースピードが 1/60 より速く、フラッシュを発光させないとき

- **フリー連写について**
  - 内蔵メモリーやカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
  - 途中から連写速度が遅くなります。
- かんたんモード [♥] のときは、低速に固定されます。(P32)

- 露出、ホワイトバランスの制御のしかたは、連写設定によって変わります。高速 [H] および低速 [L] 設定時は、最初の 1 枚に対する設定に固定されます。(撮影速度優先)
  フリー [∞] 設定時は、1 枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 連写を設定すると、オートレビューの設定に関わらずオートレビューされます。(拡大はされません) セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。

画像を再生する（▶：再生モード）

モードダイヤル設定：▶

カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。(P17)



前の画像へ　次の画像へ

画像を送る

- 最後に撮影した画像の次は、最初の画像になります。
- [回転表示]を[ON]にしている場合、本機を縦に構えて撮影した画像は縦で再生されます。(P65)



■ 早送り / 早戻しをする

再生中に ◀/▶ を押したままにすると、ファイル番号とページ番号のみが更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに ◀/▶ を離すと、その番号の画像が表示されます。

▶：早送り /◀：早戻し

- ◀/▶ を押したままにすると、一度に送る画像枚数が増加します。撮影枚数によって送り枚数は異なります。
- ◀/▶を離すと、もう一度1枚単位から開始します。
- 撮影モード時のレビュー再生や、マルチ再生では、1 枚単位でしか早送り / 早戻しはできません。
- 大きな単位で画像を早送り / 早戻しをしているときは、再生したい画像の手前で一度 ◀/▶ を離すと、小さい単位で早送り / 早戻しできます。

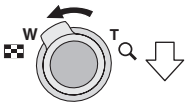
- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- パソコンでフォルダー名やファイル名を変更すると再生できない場合があります。
- 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
- 他機で撮影された静止画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 規格外のファイルを再生したときは、フォルダー・ファイル番号が [—] で表示され、画面が黒くなる場合があります。

画像を９画面表示にする（マルチ再生）

モードダイヤル設定：

①







９画面表示にする

（カード使用時の画面）

②







画像を選ぶ

■ 1 画面表示に戻すには

[🔍] の方に回すか、[MENU] ボタンを押してください。

- オレンジ色で表示された番号の画像が 1 画面表示されます。

■ マルチ再生中に画像を削除する

[🗑] ボタンを押してください。

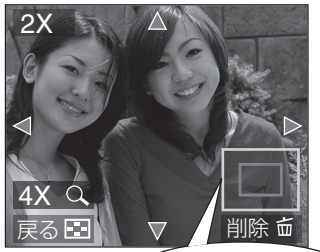
確認画面が表示されますので、▼ ボタンで [はい] を選び、► ボタンを押してください。

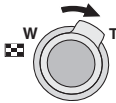
- [回転表示] を [ON] にしていても回転表示されません。（P65）

再生画面を拡大する（再生ズーム）

モードダイヤル設定：

①



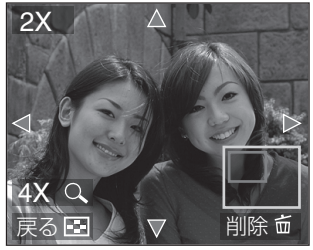


1倍 ⇨ 2倍 ⇨ 4倍
⇨ 8倍 ⇨ 16倍

ズームレバーを [🔍] 側に回して画像を拡大する

- 拡大したあと、ズームレバーを [▪] 側に回すと、倍率が小さくなります。[🔍] 側に回すと大きくなります。
- 倍率を変えると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。
- [MENU] ボタンを押すと、1 倍に戻ります。

②





位置を移動させる

- 表示する位置を移動させると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示されます。

■ 再生ズーム中に画像を削除する

[🗑] ボタンを押してください。
確認画面が表示されますので、▼ ボタンで [はい] を選び、▶ ボタンを押してください。

- 回転された画像をズームにすると回転表示されません。（P65）
- 再生ズームは、拡大するほど画質が劣化します。
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。
- 通常の再生で液晶モニターの表示を「表示なし」にしていても（P26）、再生ズーム時は、倍率や操作方法が表示されます。[DISPLAY] ボタンを押すと、表示ありと表示なしを切り換えることができます。1 倍に戻すと、通常の再生での表示に戻ります。

画像を削除する

つづく

モードダイヤル設定：

カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが削除されます。(P17)

1 枚削除

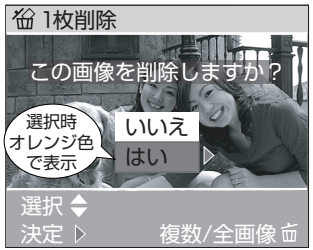
❶



前の画像へ　次の画像へ

画像を選ぶ

❷

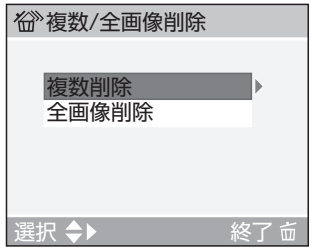


削除する

- 画像削除中に[🗑]が画面に表示されます。

複数 / 全画像削除

❶



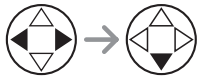
2回押す

[複数削除] または [全画像削除] を選ぶ

- [全画像削除] を選んだ場合は、❸の操作をしてください。

② [複数削除] 選択時のみ

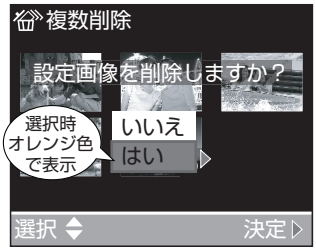


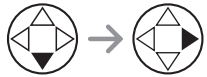


画像を選ぶ

- この手順を繰り返します。
- 設定後、[🗑] ボタンで決定してください。
- 設定した画像に [🗑] が表示されます。もう一度 ▼ ボタンを押すと設定が解除されます。
- プロテクトされていると、設定した画像に [On] アイコンが赤く点滅し、画像削除できません。プロテクト設定を解除しておいてください。(P67)

③





削除する

([複数削除] 選択時の画面)

- [全画像削除]の場合、「全ての画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。
  内蔵メモリーまたはカードのいずれか一方のみ削除されます。
  (内蔵メモリーとカードの両方を一括削除することはできません)

- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 削除中は電源を[OFF]にしないでください。
- 削除するときは、容量が十分にある電池 (P12) または AC アダプター (別売：DMW-AC1) を使用してください。
- [複数削除]で一度に削除できるのは 50 枚までです。
- [全画像削除] をしても、プロテクト [On] された画像 (P67)、DCF 規格外のファイル (P44) は削除されません。

消費電力を節約して撮る
(エコモード)

モードダイヤル設定：

液晶モニターの明るさを落とし、以下のように動作します。その他の動作は、通常撮影モード [📷] (P28) と同じです。設定方法については 22 ページを参照してください。

条件	動作
15 秒間、何も操作しない	● 「液晶オフ」メッセージが点滅し、液晶モニターが消灯したあと、動作表示ランプが点灯します。 **復帰方法** いずれかのボタンを押す
撮影後、5 秒間何も操作しない（セットアップメニューの「エコモード」を [LEVEL 2] に設定したときのみ有効）(P24)	
2 分間、何も操作しない（パワーセーブ）	電源が切れる（パワーセーブモードに入る） **復帰方法** ● シャッターボタンを半押しする ● 電源を [OFF] にしてからもう一度[ON]にする

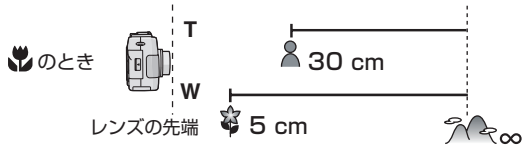
- 以下の場合、エコモードは働きません。（パワーセーブは働きます）
  - メニュー画面表示中
  - セルフタイマー設定中
- AC アダプター（別売：DMW-AC1）使用時はパワーセーブになりません。

接近して撮る
(マクロモード)

モードダイヤル設定：

花などをアップにして撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角 (W 端) にすると、レンズから 5 cm まで接近して撮影できます。

■ ピントの合う範囲



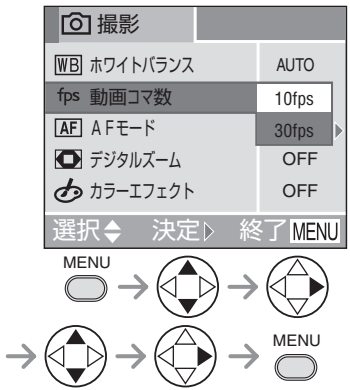
- 三脚の使用をおすすめします。
- 被写体が近い場合は、フォーカスの合っている範囲（被写界深度）が非常に狭くなりますので、フォーカス後、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- 被写体までの距離が撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- フラッシュで撮影できる範囲は、約 30 cm ～ 4.2 m です。(W 端、[ISO AUTO] 設定時)
- マクロモードで近距離を撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が若干低下する場合がありますが、故障ではありません。

動画を撮る（ : 動画撮影モード）

モードダイヤル設定：

動画を撮りたいときに合わせてください。

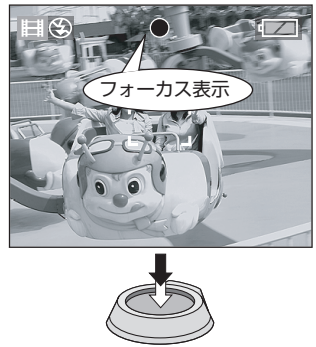
①



[動画コマ数]を選び、設定する

- [30 fps]： 動画をよりなめらかに撮影することができます。
- [10 fps]： なめらかさには欠けますが、長時間撮影することができます。また、ファイルサイズが小さいので、メールなどに添付するのに適しています。
- 設定終了後、シャッターボタンを半押しまたは [MENU] ボタンを押して、メニューを終了します。

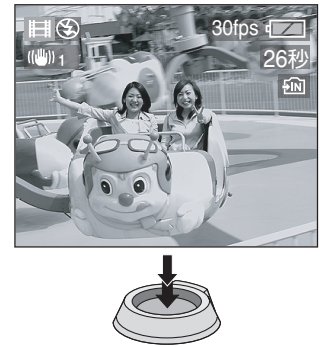
②



シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。

③



撮影を開始する

- 残り撮影時間（めやす）が表示されます。
- もう一度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。
- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

■ 撮影可能時間

	動画コマ数	10 fps	30 fps
内蔵メモリー（約 14 MB）		約 81 秒	約 26 秒
SD メモリーカード	16 MB	約 75 秒	約 25 秒
	32 MB	約 160 秒	約 55 秒
	64 MB	約 350 秒	約 120 秒
	128 MB	約 720 秒	約 240 秒
	256 MB	約 1440 秒	約 480 秒
	512 MB	約 2870 秒	約 980 秒
	1 GB	約 5700 秒	約 1950 秒

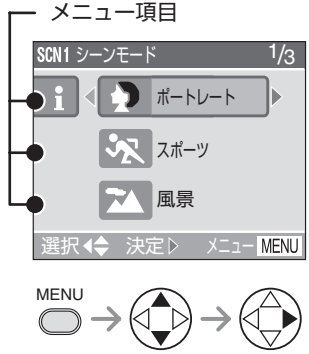
- 残り撮影可能時間が液晶モニターに表示されます。
- 撮影可能時間はめやすです。

- 記録画素数は 320×240 画素に固定されます。
- 音声は記録できません。
- マルチメディアカードを使う場合、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- オートフォーカス・ズーム・絞り値は、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- カードの種類によっては、動画撮影のときに途中で撮影が終了する場合があります。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 本機で撮影された [30 fps] の動画は、[30 fps] に対応していない機種では再生できません。
- 動画撮影モード[🎞]のときは、縦位置検出機能とレビューが使えません。
- 手ぶれ補正の [MODE2] は使えません。

シーンモードで撮る

モードダイヤル設定： SCN1 SCN2

- モードダイヤルをシーンモードに合わせてシーンメニューを表示させてください。
  セットアップメニューの [シーンメニュー]（P22）を [OFF] に設定している場合、[MENU] ボタンを押してシーンメニューを表示させてください。



- ◀ を押すと、各シーンモードの説明が表示されます。（▶ を押すとシーンメニューに戻ります）
- ズームレバーを回すと、1/3、2/3、3/3 とページが切り換わります。
- シーンメニューが表示されているときに[MENU]ボタンを押すと、撮影メニュー（P56）とセットアップメニュー（P22）を設定することができます。

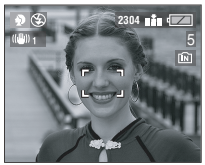
：ポートレートモード（P53）
：スポーツモード（P53）
：風景モード（P53）
：夜景モード（P54）
：夜景ポートレートモード（P54）
：花火モード（P55）
：パーティーモード（P55）
：雪モード（P55）

- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- 撮影する画像の明るさを変更したいときは、露出を補正してください。（P40）
- シーンモード時は次の設定ができません。
  - ホワイトバランス（P57）
  - ISO 感度（P59）
  - カラーエフェクト（P62）
  - 画質調整（P62）

つづく

ポートレートモード

人物を撮りたいときに合わせてください。人物を引き立て、肌の色を健康的に出すように露出と色調を調整します。



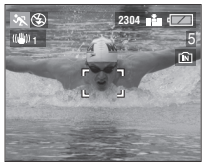
■ 撮影のテクニック

ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くし、遠くにある背景を選ぶとより効果が出ます。

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。

スポーツモード

屋外のスポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。



■ 撮影のテクニック

動きを止めて撮影するために、速めのシャッタースピードに設定されます。できるだけ天気の良い昼間に撮影するのが効果的です。

- 5 m 以上離れた昼間の屋外で撮影するのに適しています。
- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。

風景モード

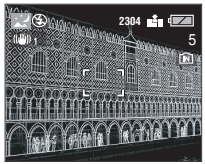
広がりのある風景を撮りたいときに合わせてください。
遠くにある被写体に優先的にピントを合わせます。



- ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。
- ISO感度は[AUTO]に固定されます。
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。

夜景モード

夜景を撮りたいときに合わせてください。シャッタースピードを遅くすることにより、夜景が鮮やかになります。



■ 撮影のテクニック

- シャッタースピードは最大約 8 秒になるので、三脚を使用してください。

- ピントが合う範囲は 5 m～∞です。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 8 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- ISO 感度は [ISO64] に固定されます。
- フラッシュは発光禁止 [⊘] に固定されます。

夜景ポートレートモード

夜景を背景に人物などを撮りたいときに合わせてください。フラッシュを使い、シャッタースピードを遅くすることにより、人物とともに背景も見た目に近い明るさになります。



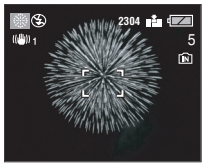
■ 撮影のテクニック

- **フラッシュをお使いください。**
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。
- ズームレバーを W 端（広角）にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。

- ピントが合う範囲は 1.2 m～5 m です。（フラッシュの調光範囲については 37 ページをお読みください）
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 1 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュを発光禁止 [⊘] にしている場合は、▶ を押して赤目軽減スローシンクロ [SⓄ] に設定してください。（フラッシュは赤目軽減スローシンクロ [SⓄ] に固定され、常に発光します）
- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。

花火モード

夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮りたいときに合わせてください。打ち上げ花火を撮影するために、シャッタースピードを調整します。



■ 撮影のテクニック

- 三脚を使うことをおすすめします。

- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。
- 被写体までの距離が10 m以上のときに最適です。
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。

パーティーモード

結婚式や室内でのパーティーなどで、その場の雰囲気を生かして撮影したいときに合わせてください。フラッシュを使い、シャッタースピードを遅くすることにより、人物とともに背景も見た目に近い明るさになります。



■ 撮影のテクニック

- シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。
- ズームレバーを W 端（広角）にして、被写体から約 1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。

- フラッシュ設定時は、赤目軽減強制発光 [ ] または赤目軽減スローシンクロ [ ] に設定できます。
- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。

雪 モード

スキー場や雪山など、雪のある場所で撮りたいときに合わせてください。白い雪を白く出すように、露出とホワイトバランスを調整します。



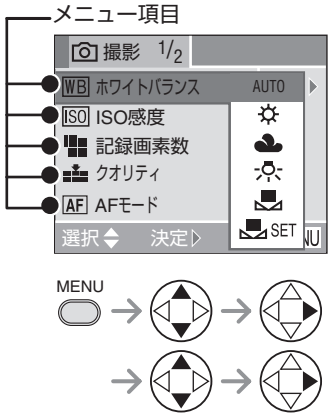
- ISO 感度は [AUTO] に固定されます。

撮影メニューを使う

モードダイヤル設定： 

色合いや画質調整などを設定すると、撮影のバリエーションが広がります。

- モードダイヤルを撮影するモードに合わせてください。



- ズームレバーを回すと、1/2、2/2 とページが切り換わります。
- 設定終了後、シャッターボタンを半押しまたは [MENU] ボタンを押して、メニューを終了してください。

WB：ホワイトバランス（P57）

ISO：ISO 感度（P59）

：記録画素数（P59）

：クオリティ（P60）

AF：AF モード（P60）

SLOW：スローシャッター（P61）

：デジタルズーム（P62）

：カラーエフェクト（P62）

：画質調整（P62）

WB ホワイトバランス

モードダイヤル設定： 📷 Ⓔ 🎥

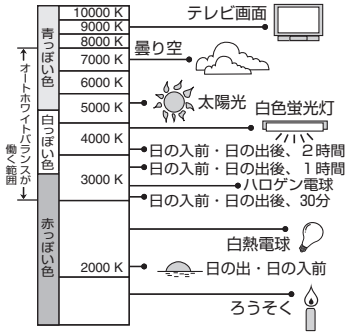
太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、見た目に近い白色に調整します。

項目	撮影状況
AUTO（オート）	自動で設定するとき
☼（晴天）	屋外晴天下で撮影するとき
☁（曇り）	曇天や日陰で撮影するとき
💡（白熱灯）	白熱灯下で撮影するとき
SET（セットモード）	あらかじめセットしている設定を使用するとき
SET（セットモード）	新しくホワイトバランスを設定するとき

- [AUTO] 以外に設定すると、ホワイトバランスを微調整することができます。

■ オートホワイトバランスについて

オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、手動でホワイトバランスを [AUTO] 以外に設定して調整してください。



■ セットモードについて（SET）

手動でホワイトバランスを設定したいときに使用します。

SET（セットモード）に設定して、▶ を押してください。白い紙などに本機を向けて、画面の中央の枠内に白いものだけが写るようにし、▶ を押してください。



■ ホワイトバランス微調整(WB±)について

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- ホワイトバランスを☼/☁/🔆/🔽に設定してください。(P57)





▲ボタンを数回押し、[WB± WB微調整]を表示させ、ホワイトバランスを調整する

►:青(赤みが強い場合)
◄:赤(青みが強い場合)

ホワイトバランスについて

- かんたんモード[♥]時は、[AUTO]に固定されます。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されます[☼(晴天)を除く]が、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。

ホワイトバランス微調整について

- ホワイトバランスを微調整すると、液晶モニターに表示されるホワイトバランスアイコンが赤、または青に変わります。
- ホワイトバランスの各モードで独立して微調整することができます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- セットモード[🔽SET]で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、微調整レベルは"0"に戻ります。
- カラーエフェクト設定(P62)を[クール]、[ウォーム]、[白黒]、[セピア]のいずれかに設定しているとき、ホワイトバランスの微調整はできません。

つづく

ISO ISO 感度

モードダイヤル設定：

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、数値が高くなるほど、暗い場所での撮影に適しています。

- [AUTO] を選ぶと、明るさに応じて ISO 感度を [ISO64] ～ [ISO200] まで自動的に高くしていきます。（フラッシュ使用時は [ISO100] ～ [ISO400]）

ISO 感度	64 ⇐	⇒ 400
屋外など明るい場所での撮影	適している	適していない
暗い場所での撮影	適していない	適している
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

- かんたんモード [♥]、動画撮影モード [🎞]、シーンモード（P52）時は [AUTO] に固定されます。（シーンモードの夜景は [ISO64] に固定されます）
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[画質調整] を [ナチュラル] にして撮影することをおすすめします。（P62）

記録画素数

モードダイヤル設定： SCN1 SCN2

大きい記録画素数（2304×1728）を選ぶと、鮮明にプリントすることができます。
小さい記録画素数（640×480）を選ぶと、多くの画像が記録できます。また、データ容量が小さいので、E メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに便利です。

項目	記録画素数	画素数のめやす
2304	2304×1728 画素	約 400 万画素
1600	1600×1200 画素	約 200 万画素
1280	1280×960 画素	約 130 万画素
640	640×480 画素	約 35 万画素
HDTV	1920×1080 画素	約 200 万画素

- [HDTV] で撮影した画像をハイビジョンテレビで再生する方法については、77 ページをお読みください。
- [HDTV] で撮影した画像は、プリント時に両端が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。（P102）

- 動画撮影モード [🎞] 時は、320×240 画素に固定されます。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 被写体により記録枚数は変動します。
- 液晶モニターに表示される残り枚数は、撮影された枚数分、減少しない場合があります。
- 記録枚数については、19 ページをお読みください。

クオリティ

モードダイヤル設定： SCN1 SCN2

2 種類のクオリティ（圧縮率）の中から、目的に合わせて選ぶことができます。

- ：ファイン（低圧縮）
  画質を優先し、高画質に記録します。
- ：スタンダード（高圧縮）
  撮影枚数を優先し、画質は標準で記録します。

- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 被写体により記録枚数は変動します。
- 液晶モニターに表示される残り枚数は、撮影された枚数分、減少しない場合があります。
- 記録枚数については、19 ページをお読みください。

AF モード

モードダイヤル設定： SCN1 SCN2

項目	効果	
（5 点）	5 点いずれかでピントを合わせます。被写体の位置を限定することなく、自由な構図で撮影できます。	
（3 点）	左、中央、右の 3 点いずれかでピントを合わせます。	
（1 点）	画面中央の AF エリア内にピントを合わせます。	
（スポット）	限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。	

- 3点に設定しているときは、ピント合わせの際に、画像が静止することがありますが異常ではありません。
- デジタルズーム時または暗い場所での撮影時は、通常よりも大きな中央1点のAFエリアが表示されます。



- AFエリアが複数（最大5個）点灯した場合は、点灯したすべてのAFエリアにピントが合っています。
  カメラが自動的に判断した位置にピントが合うので、ピントが合う位置は決まっていません。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を1点に切り換えてください。

SLOW スローシャッター

モードダイヤル設定： 📷 ⓔ 🌷 SCN1 SCN2

シャッタースピードは自動的に調整されますが、一番遅いシャッタースピードをさらに遅くすることで、通常よりも明るく撮影することができます。特に、シーンモード（P52）の夜景ポートレートモードで夜景と人物を両方明るく撮影したいときなどに効果があります。
1/8秒、1/4秒、1/2秒、1秒から選択できます。

スローシャッター設定	1/8 − ⟵ ⟶ 1 −	
明るさ	暗くなる	明るくなる
手ぶれ	少ない	多い

- 通常は、[1/8 −]に設定して、お使いください。
  （[1/8 −]以外を選択した場合、液晶モニターの左下に[SLOW]が表示されます）
- [スローシャッター]でシャッタースピードを遅くするときは、手ぶれが起きやすいため、三脚の使用をおすすめします。
- シーンモード（P52）の夜景と花火のときは、スローシャッターの設定ができません。

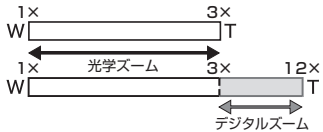
デジタルズーム

モードダイヤル設定： SCN1 SCN2

光学 3 倍、デジタル 4 倍の最大 12 倍まで拡大が可能になります。

■ デジタルズーム領域に入る

- 光学ズームの最も望遠側まで拡大すると、一度ズーム表示のバーが停止します。
  その状態でズームレバーを T 側に回し続けるか、一度ズームレバーを離してもう一度 T 側にズームレバーを回すと、デジタルズーム領域に入ることができます。



- デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。
- デジタルズーム領域では、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚の使用をおすすめします。
- ズーム倍率はめやすです。
- デジタルズーム領域では、通常よりも大きなAFエリアが表示され、AF エリアは中央 1 点のみとなります。(P61)

カラーエフェクト

モードダイヤル設定：

4 種類の色彩効果が得られます。撮影イメージに合わせて使い分けてください。

項目	効果
クール	青っぽい画像になります。
ウォーム	赤っぽい画像になります。
白黒	白黒画像になります。
セピア	セピア色の画像になります。

画質調整

モードダイヤル設定：

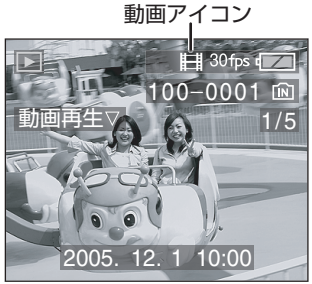
撮影状況、撮影イメージに合わせて使い分けてください。

項目	効果
ナチュラル	より柔らかいイメージの画像になります。
ヴィヴィッド	よりくっきりとしたイメージの画像になります。

- 暗い場面で撮影するとき、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[画質調整] を [ナチュラル] にすることをおすすめします。

動画を再生する

モードダイヤル設定：





動画アイコン [🎞] が付いた画像を選び、動画を再生する



- 再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶に対応しています。

- もう一度▼を押すと停止し、通常の再生画面に戻ります。

■ 早送り / 早戻しする

動画再生中に ◀/▶ を押したままにする

▶：早送り　　◀：早戻し

- ボタンを離すと、通常の動画再生に戻ります。

■ 一時停止する

動画再生中に ▲ を押す

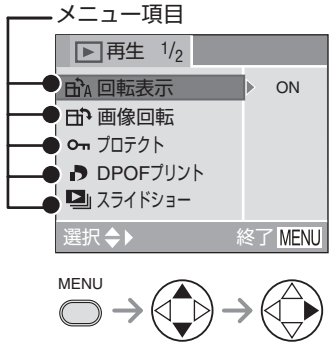
- もう一度 ▲ を押すと一時停止が解除されます。

- 動画再生中や一時停止中、ズームはできません。
- 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
- パソコンや他機で記録されたQuickTime Motion JPEGファイルは本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

再生メニューを使う

モードダイヤル設定：

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。



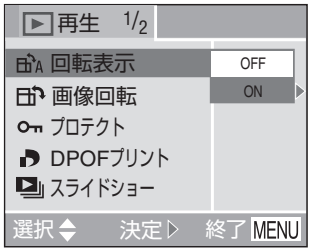
- ズームレバーを回すと、1/2、2/2 とページが切り換わります。
- 上図の操作でメニューを選んだあと、各メニューの設定を行ってください。

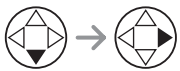
：回転表示（P65）
：画像回転（P66）
：プロテクト（P67）
：DPOF プリント（P69）
：スライドショー（P71）
：リサイズ（P72）
：トリミング（P73）
：コピー（P74）
：フォーマット（P76）

つづく

回転表示

本機を縦に構えて撮影した画像や、画像回転で回転させた画像を回転して表示させることができます。





[ON] に設定する

- [OFF]に設定すると画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については44 ページをお読みください。

- 本機を縦に構えて撮影する場合は、「上手に撮影するには」をよくお読みください。(P28)
- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影した画像では、縦位置検出機能 (P31) が正しく機能しない場合があります。
- 通常再生での静止画のみ回転できます。回転された画像をズーム再生やマルチ再生で再生した場合は、回転表示はされません。
- 縦に構えて撮影しない場合でも、[画像回転] (P66) をすることで回転して表示できます。

画像回転

撮影した画像を 90˚ ごとに回転して表示させることができます。

1



画像を選び決定する

- 動画撮影モード [🎞] で撮影された画像、プロテクトされた画像は回転できません。

2



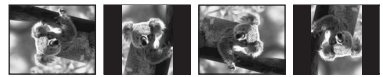
回転方向を設定する

↷ :時計回りに 90˚ ごとに回転します。

↶ :反時計回りに 90˚ ごとに回転します。

- 設定終了後、[MENU] ボタンを2回押してメニューを終了します。

■画像回転の例 [時計回り(↷)の場合]



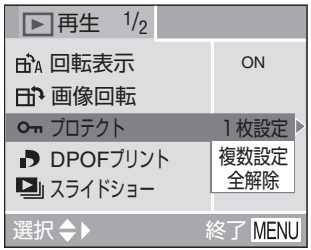
0˚ (元画像)　90˚　180˚　270˚

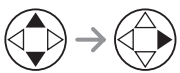
- パソコンで再生するとき、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exif とは、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです]
- [回転表示] が [OFF] になっていると、画像回転できません。
- 本機を縦に構えて撮影したときは、縦 (回転されて) で表示されます。

つづく

プロテクト

画像を誤って削除することがないように、削除したくない画像にプロテクトを設定することができます。





[1 枚設定]、[複数設定]、または [全解除] を選ぶ

■ 1 枚設定





画像を選び、設定 / 解除する

設定：プロテクト表示が出ます。
解除：プロテクト表示が消えます。

- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを2回押してメニューを終了します。

■ 複数設定



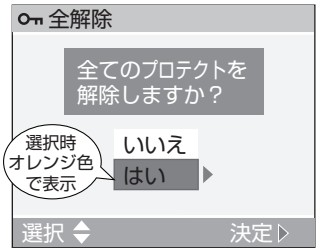


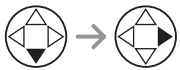
画像を選び、設定 / 解除する

設定：プロテクト表示が出ます。
解除：プロテクト表示が消えます。

- この手順を繰り返します。
- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを2回押してメニューを終了します。

■ 全解除





[はい] を選び、すべてのプロテクト設定を解除する

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。
- カードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データについて、プロテクト設定が解除されます。

- プロテクト設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気を付けください。
- プロテクトされた画像は削除できません。ファイルを削除したいときは、プロテクト設定を解除してください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。(P76)
- プロテクト設定をしていなくても、SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、画像の削除はできません。

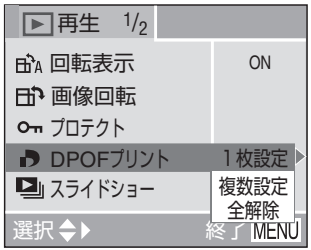


- 画像をプロテクトすると以下の機能が使えません。
  - 画像回転（P66）

DPOF（ディーポフ）プリント

DPOF（ディーポフ）プリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントしたいときは、カードにコピー（P74）してから DPOF 設定してください。

1



[1 枚設定]、[複数設定]、[全解除] から選ぶ

■ 1 枚設定



画像を選び、プリント枚数を設定する

- プリント枚数は 0 ～ 999 枚まで設定できます。このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。
- 設定終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

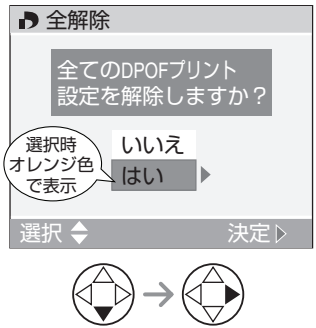
■ 複数設定



画像を選び、プリント枚数を設定する

- この手順を繰り返します。
- プリント枚数は 0 ～ 999 枚まで設定できます。このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。
- 設定終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

■ 全解除



[はい]を選び、すべてのDPOFプリント設定を解除する

- 解除終了後、[MENU] ボタンを押して、メニューを終了します。
- カードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データについて、DPOF プリント設定が解除されます。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY] ボタンを押すごとに日付プリントを設定 / 解除できます。

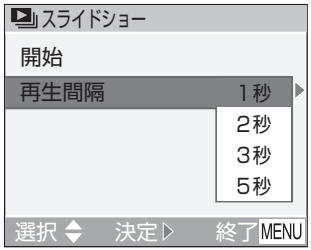


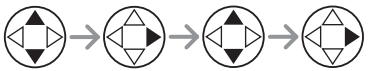
- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることを別途指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店を尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

- プリント設定すると、PictBridge 対応のプリンターで出力するときにも便利です。（P81）
- DPOF とは Digital Print Order Format の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにプリント情報を書き込むことができるようにしたものです。
- DCF 規格に準拠してないファイルは DPOF プリント設定できません。[DCFとはDesign rule for Camera File system の略で、(社) 電子情報技術産業協会（JEITA）のファイルシステム規格に準拠した記録方式です]
- 本機で DPOF プリント設定するときは、他機種で設定された DPOF 情報をすべて解除する必要があります。

スライドショー

①

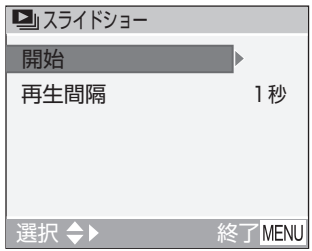




スライドショーの設定をする

再生間隔	1、2、3、5 秒の中から設定できます。

②





[開始] を選び、決定する

- [MENU] ボタンを押すと終了します。

■ SD スライドショーについて

CD-ROM（付属）のソフトウェア [SD Viewer for DSC] で編集されたSDスライドショーのデータが記録されているカードを本機に入れ、再生モードで電源を入れると確認画面が表示されます。[はい] を選んで ▶ ボタンを押すと、SD スライドショーが始まります。通常再生にするときは [いいえ] を選んで ▶ ボタンを押してください。

- [SD Viewer for DSC] でDPOFスライドショー設定された画像は、本機ではスライドショー表示ができません。

- スライドショーで動画再生はできません。

リサイズ

E メール添付やホームページ用に、撮影した画像の容量を小さくしたいときに使います。

①





画像を選び、決定する

- 以下の画像はリサイズできません。
  - サイズが 640×480 画素以下の画像
  - 記録画素数が[HDTV]で撮影された画像
  - 動画
- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。

②

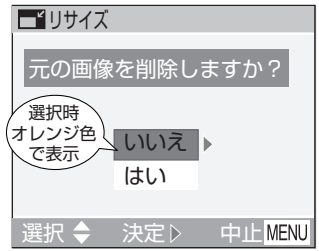


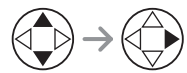


サイズを選び、設定する

- 撮影した画像のサイズよりも、小さなサイズが表示されます。
- [1600]：1600×1200 画素
- [1280]：1280×960 画素
- [640]　：　640×480 画素

③





[はい] または [いいえ] を選び、決定する

- [はい]を選ぶと画像が上書きされます。リサイズされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。
  [いいえ] を選ぶとリサイズされた画像が新しく作成されます。
- リサイズ終了後、[MENU]ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

トリミング

撮影した画像の必要な部分を切り抜きたいときに使います。

❶

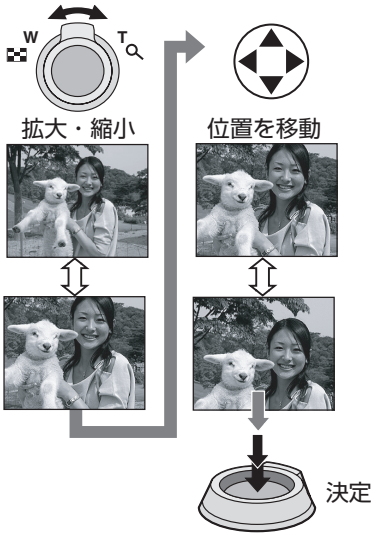




画像を選び、決定する

- 以下の画像はトリミングできません。
  - サイズが 640×480 画素未満の画像
  - 記録画素数が[HDTV]で撮影された画像
  - 動画
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。

❷



切り抜く部分を選び、決定する

- 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

❸

[はい] または [いいえ] を選び、決定する

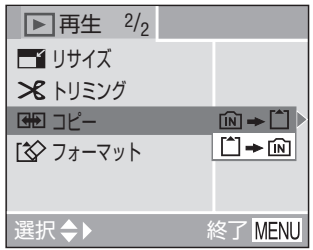
- [はい]を選ぶと画像が上書きされます。トリミングされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。[いいえ] を選ぶとトリミングされた画像が新しく作成されます。
- トリミング終了後、[MENU] ボタンを2回押してメニューを終了します。

- [回転表示]を[ON]にしていても回転表示されません。(P65)
- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が劣化します。

コピー

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、またはカードから内蔵メモリーにコピーするときに使います。

1



画像データのコピー方向を選ぶ

- IN → カード：
  内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。
  （3の操作をしてください）
- カード → IN：
  カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。
  （2から操作をしてください）

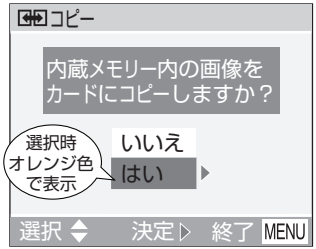
2



コピーする画像を選び、決定する

- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、画像は一括選択になりますので、この画面は表示されません。

3



[はい] を選び、決定する

（内蔵メモリーからカードへ一括コピーするときの画面）

- カードから内蔵メモリーにコピーする場合、「この画像を内蔵メモリーにコピーしますか？」とメッセージが表示されます。
- コピーが終了するまで、電源を切ったり、他の操作をしないでください。内蔵メモリーやカードのデータが壊れたり、消失することがあります。

- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、内蔵メモリー（約 14 MB）より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
- コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーはされません。
- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、カードの空き容量が小さいと途中までしか画像データをコピーできません。
- DPOF 設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。（P69）
- DCF 規格（P44、70 ）に準拠しているファイルのみコピーされます。（DCF 規格外のファイルはコピーされません）
- コピーに時間がかかることがあります。
- 本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーされない場合があります。

フォーマット

内蔵メモリーまたはカードを初期化します。



[はい] を選び、フォーマットする

（内蔵メモリーをフォーマットするときの画面）

- カードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データをフォーマットすることができます。

- 通常、内蔵メモリーやカードはフォーマットする必要はありません。「内蔵メモリーエラー」または「メモリーカードエラー」と、メッセージが表示された場合などにフォーマットしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- プロテクトされた画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。
- フォーマット中は電源を[OFF]にしないでください。
- フォーマットするときは、容量が十分にある電池（P12）または AC アダプター（別売：DMW-AC1）を使用してください。

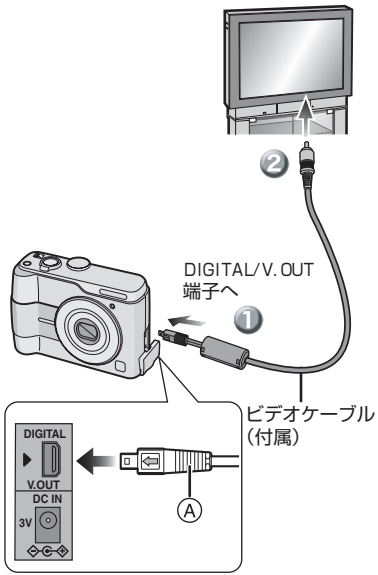
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは、フォーマットできません。
- カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。（最大約 15 秒）
- フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

テレビで画像を再生する

モードダイヤル設定：▶

■ ビデオケーブル(付属)を使って見る

- 電源を [OFF] にし、テレビの電源も切っておく。



❶ 本機の[V. OUT]端子にビデオケーブルを確実に接続する

- ビデオケーブルの [⬅] マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- ビデオケーブルは、Ⓐ 部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

❷ テレビの映像入力端子にビデオケーブルを接続する

❸ テレビの電源を入れ、外部入力にする

❹ 本機の電源を [ON] にし、モードダイヤルを再生 [▶] にする

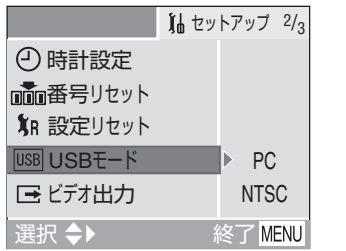
■ SD メモリーカードスロット付テレビで見る

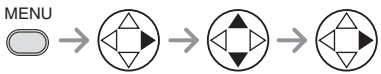
SD メモリーカードスロット付テレビに撮影したSDメモリーカードを入れて再生することができます。このとき、記録画素数（P59）を [HDTV] に設定して撮影した画像をハイビジョンテレビで再生すると、より高画質な画像で見ることができます。
（マルチメディアカードは、SD メモリーカードスロット付テレビで再生できないことがあります）

- 付属のビデオケーブル以外は使わないでください。
- 画面が流れたり色が付かない場合は、[ビデオ出力] が [NTSC] に設定されているか確認してください。（P22）
- テレビの説明書もお読みください。
- モードダイヤルを再生 [▶] にしているときのみ、テレビに画像を表示させることができます。
- 海外で見るときは96 ページをお読みください。

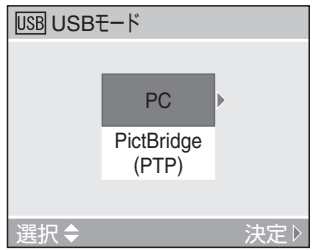
パソコンやプリンターと接続する前に（USB）

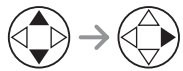
USB 接続ケーブル（付属）を使って本機をパソコンやプリンターに接続する前に、USB 通信方式を選択します。
セットアップメニューの [USB モード] で設定してください。（P22）





[USB モード] を選ぶ





[PC] または [PictBridge（PTP）] を選び、決定する

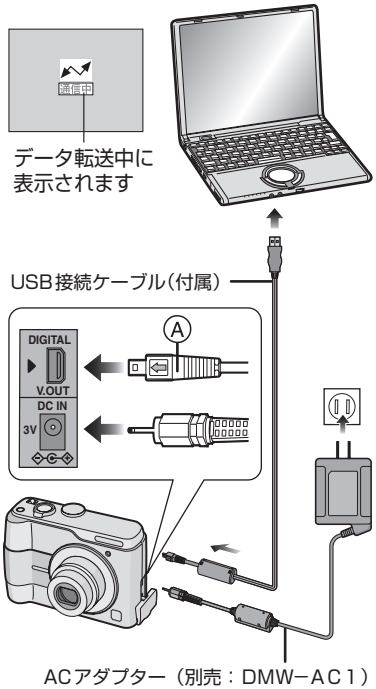
- パソコンに接続する場合は [PC] に設定してください。（P79）
- PictBridge対応プリンターに接続する場合は [PictBridge（PTP）] に設定してください。（P81）
- [MENU] ボタンを押して終了してください。

- [PC] を選択すると、USB の Mass Storage 通信方式で接続されます。
- [PictBridge（PTP）] を選択すると、USBのPTP（Picture Transfer Protocol）通信方式で接続されます。

パソコンと接続する

つづく

Windows® 98/98SE をご使用の方のみ、USB ドライバーのインストールを行ってから接続してください。
(Windows Me/2000/XP、Mac OS 9.x、Mac OS X をご使用の方は、USB ドライバーのインストールの必要はありません。インストールについては別冊の「パソコン接続編取扱説明書」を参照してください)



❶ 電源を[ON]にして、セットアップメニューの [USB モード] を [PC] に設定する (P78)

- [USB モード] を [PictBridge (PTP)] にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。
「キャンセル (中止)」を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。設定し直してから再度接続してください。

❷ USB 接続ケーブル (付属) で、本機とパソコンを接続する

- USB 接続ケーブルの [⬅] マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- USB 接続ケーブルは、Ⓐ 部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

Windows の場合

[マイ コンピュータ]フォルダーにドライブが表示されます。

- はじめて接続したときは、Windows のプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと[マイ コンピュータ]フォルダーにドライブが表示されます。

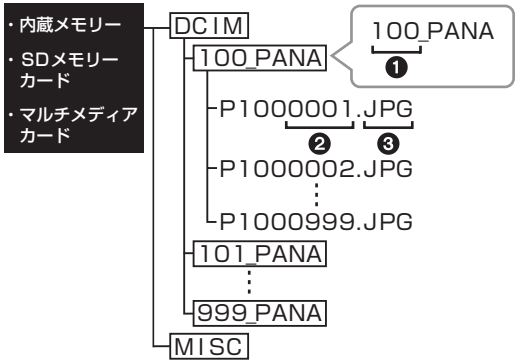
Macintosh の場合

画面上にドライブが表示されます。

- カードを入れずに接続した場合は、[LUMIX] と表示されます。
- カードを入れて接続した場合は、[名称未設定] と表示されます。

■ フォルダー構造について

フォルダーは下図のように表示されます。



❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG ：画像
MOV ：動画

各フォルダーの内容は以下のとおりです。

DCIM	100_PANA ～ 999_PANA
100_PANA	画像 / 動画
MISC	DPOF 設定が記録されたファイル

- 本機で記録した場合は、1 つのフォルダーにつき最大 999 枚の画像データが入ります。それを超えると次のフォルダーが作成されます。
- ファイル番号やフォルダー番号をリセットする場合は、セットアップメニューの [番号リセット] を行ってください。(P22)

- 通信中に電池残量がなくなると、データが破壊される恐れがあります。接続するときは容量が十分にある電池（P12）または AC アダプター(別売:DMW-AC1)を使用してください。
- 通信中に電池残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。
- 「通信中」と表示されている間は、USB 接続ケーブルを抜かないでください。
- **Windows 2000を使用してUSB接続した場合には、接続したままでカードの交換を行わないでください。カード内の情報を破壊する恐れがあります。**
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- 詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。
- パソコンの説明書もお読みください。
- 接続したときにカードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データを扱うことができます。
- 接続中は内蔵メモリー/ カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度 USB 接続ケーブルを外し、カードを入れて（または取り出して）から接続し直してください。

■ PictBridge(PTP)設定について

Windows XP Home Edition/Professional、Mac OS X のみ [USB モード] を [PictBridge (PTP)] にしても接続できます。

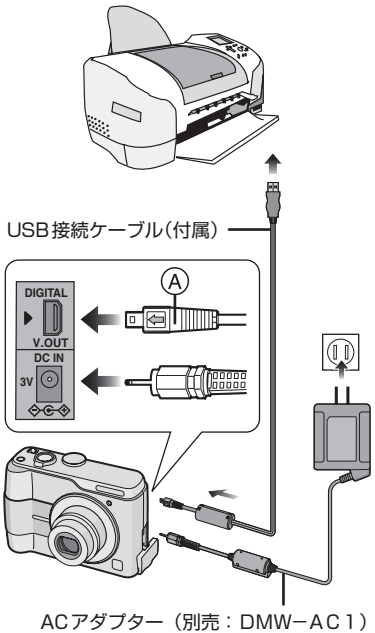
- 本機からは、画像の読み出しのみ行うことができます。カードへの書き込みや、削除はできません。
- カードの中に 1000 枚以上画像があると、取り込めない場合があります。

PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンターに接続してプリントする

つづく

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機を PictBridge に対応したプリンターに直接接続し、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。
あらかじめプリンター側で印字品質などのプリントの設定をしてください。（プリンターの説明書をお読みください）

■ 接続する



❶ 電源を[ON]にして、セットアップメニューの [USB モード] を [PictBridge(PTP)] に設定する（P78）

❷ プリンターの電源を入れる

❸ USB 接続ケーブル（付属）で、本機とプリンターを接続する

- USB 接続ケーブルの [⬅] マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- USB接続ケーブルは、Ⓐ部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

DPOF プリントを設定していない	「選択画像」（P82）へ
DPOF プリントを設定している（P69）	「DPOF」（P83）へ

- プリントに時間がかかる場合がありますので、接続するときは容量が十分にある電池（P12）または AC アダプター（別売：DMW-AC1）を使用してください。
- 通信中に電池残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- 接続したときにカードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データを扱うことができます。
- 接続中は内蔵メモリー / カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度USB接続ケーブルを外し、カードを入れて（または取り出して）から接続し直してください。

選択画像

①

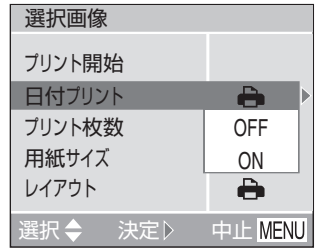




画像を選ぶ

- メッセージは約2秒後に消えます。

②





プリントの設定をする

- プリンターが対応していない項目はグレーで表示され、選択することができません。
- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定で印刷したい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を [🖨] にして、プリンター側で設定してください。(詳しくはプリンターの説明書をお読みください)

■ 日付プリント

🖨	プリンターの設定が優先されます。
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。

■ プリント枚数

- プリントする枚数を設定してください。

■ 用紙サイズ

(本機で設定可能な用紙サイズ)

1/2と2/2に分かれて表示されます。
▼ を押して選択してください。

1/2	
🖨	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
A4	210 mm×297 mm

2/2 ※	
カード	54 mm×85.6 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm

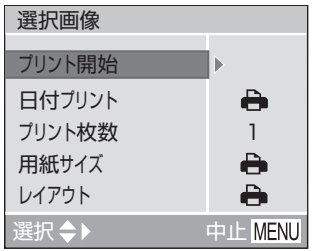
※プリンターが対応していない場合は、これらの項目は表示されません。

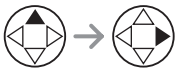
■ レイアウト

（本機で設定可能なレイアウト）

	プリンターの設定が優先されます。
	1 面ふちなし印刷
	1 面ふちあり印刷
	2 面印刷
	4 面印刷

③





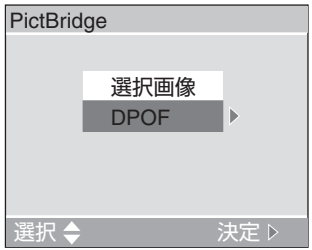
[プリント開始] を選び、プリントする

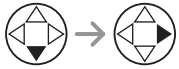
- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU] ボタンを押してください。

DPOF

- あらかじめ本機で DPOF プリントの設定をしておく。（P69）

①



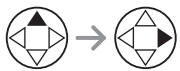


[DPOF] を選ぶ

- 新たに設定した内容でDPOFプリントする場合は、一度 USB 接続ケーブルを抜いてから、もう一度プリンターに接続してください。
- [MENU] ボタンを押すと DPOF プリントの設定が変更できます。（P69）

②





[プリント開始] を選び、プリントする

- プリントの設定をしたい場合は 82 、83 ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU] ボタンを押してください。

■ DPOF プリント設定で日付プリントを指定しておく

お使いのプリンターが DPOF の日付プリント設定に対応しているときは、DPOF プリント設定であらかじめ日付プリントを設定しておくことをおすすめします。(P70) [DPOF] を選んでプリントを開始すると、撮影日時がプリントされます。

- ケーブル切断禁止アイコン [⛒] が表示されているときは、USB 接続ケーブルを抜かないでください。
- プリント中にオレンジ色の[●]のアイコンが表示されているときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- DPOF 印刷の場合、プリント枚数の合計が多い場合や、たくさんの画像を設定している場合、複数回に分けて印刷される場合があります。
(残り枚数の表示が設定枚数と異なりますが、故障ではありません)
- 日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。
- プリンターが、日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。

■ レイアウト印刷について

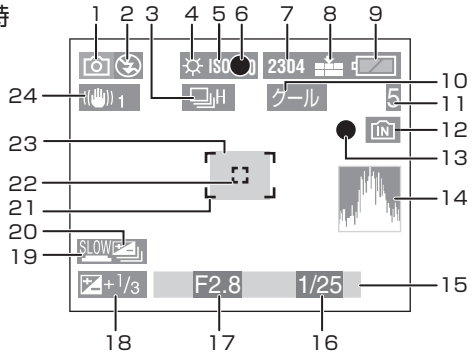
- **1 枚の用紙に同じ画像を印刷する場合**
例えば、1 枚の用紙に同じ画像を 4 枚印刷する場合、[レイアウト] を 4 面印刷に設定し、印刷したい画像の [プリント枚数] を 4 枚に設定してください。
- **1 枚の用紙に異なる画像を印刷する場合 (DPOF プリントのみ)**
例えば、1 枚の用紙に異なる画像を 4 枚印刷する場合、[レイアウト] を 4 面印刷に設定し、DPOF プリント設定 (P69) で 4 つの画像を [プリント枚数]1 枚でそれぞれ選択してください。

液晶モニターの表示

つづく

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

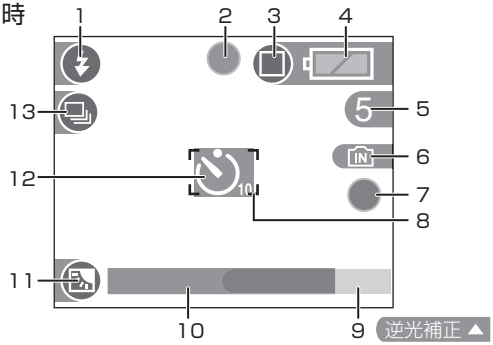
撮影時



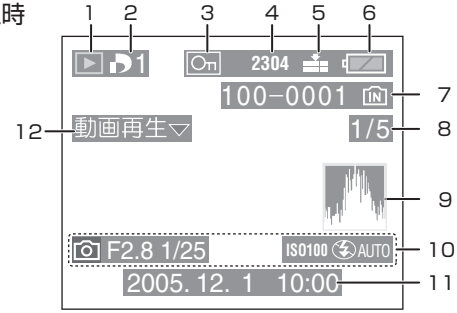
■ 撮影時

1 撮影モード(P28)
2 フラッシュモード(P36)
3 連写(P43)
4 ホワイトバランス(P57)
5 ISO 感度(P59)
6 フォーカス(P29)
7 記録画素数(P59)
8 クオリティ(P60)
:手ぶれ警告(P31)
9 電池残量(P12)
10 カラーエフェクトモード(P62)
11 残り枚数 / 時間
動画時:×××秒
12 内蔵メモリー/ カード(P17)
:内蔵メモリー
:カード
13 記録動作
14 ヒストグラム(P27)
15 現在日時
起動時 / 時計設定 / 再生モードから撮影モードへ切り換え後、画面の下に約 5 秒間表示されます。
ズーム / デジタルズーム
(P35、62)
W T
16 シャッタースピード(P29)
17 絞り値(P29)
18 露出補正(P40)
19 スローシャッター(P61)
20 オートブラケット(P41)
21 AF エリア(P29)
22 スポット AF エリア(P60)
23 セルフタイマーモード(P39)
24 手ぶれ補正(P42)

かんたんモード時



再生時



■ かんたんモード時

1 フラッシュモード(P36)
2 フォーカス(P29)
3 画質設定(P32)
　:手ぶれ警告(P31)
4 電池残量(P12)
5 残り枚数
6 内蔵メモリー/ カード(P17)
　:内蔵メモリー
　:カード
7 記録動作
8 AF エリア(P29)
9 逆光補正操作(P33)
10 現在日時
　起動時 / 時計設定 / 再生モードからかんたんモードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。
　W T : ズーム (P35)
11 逆光補正(P33)
12 セルフタイマーモード(P39)
13 連写(P43)

■ 再生時

1 再生モード
2 DPOF プリント枚数(P69)
3 プロテクト(P67)
4 記録画素数(P59)
　:動画時
5 クオリティ(P60)
　10fps / 30fps :動画時
　●かんたんモード時
　　:引き伸ばし
　　:サービス版
　　:E メール
6 電池残量(P12)
7 フォルダー・ファイル番号(P80)・内蔵メモリー/ カード(P17)
8 ページ番号 / トータル枚数
9 ヒストグラム(P27)
10 撮影情報
11 撮影日時
12 動画再生(P63)

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **危険**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

電池の端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
電池を炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない



液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になった電池については、95ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠警告

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

⚠警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部に触れない



接触禁止

落雷すると、感電の原因になります。

異常があったときは、電池を取り外す

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき



そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

⚠注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やカード、電池などを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない



集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

フラッシュ発光中に、近くで発光部を直接見ない



強い光により、目を痛める原因になることがあります。

⚠注意

フラッシュの発光部分を直接手で触らない



接触禁止

やけどの原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う



本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

⚠注意

電池は誤った使いかたをしない
- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **指定されていない乾電池や充電式電池（P11）を使わない**



取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 長期間使わないときは、取り出しておいてください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

使用上のお願い

■ 本機について

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わるとレンズや外装ケースが壊れ、故障します。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、電池や AC アダプター（別売：DMW-AC1）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、電池や AC アダプター（別売：DMW-AC1）を外しておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞って汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 万一雨水や水滴がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

■ カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運び時はケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

■ 電池について

長期間使用しないときは、必ず電池を取り出す

- 極端に低温、高温になるところでは、端子がさびたりして故障の原因となります。

電池を誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

出かけるときは予備の電池を準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますのでお気を付けください。

■ 不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ
  http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- ⊕ 端子、⊖ 端子をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



充電式
ニッケル水素
電池使用

Ni-MH

■ 画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 三脚について

市販のカメラ用三脚を使うと、シャッタースピードが遅いときや、望遠で撮影するときでも手ぶれのない安定した撮影ができます。

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、電池が取り出せない場合があります。
- 三脚の説明書もよくお読みください。

■ 海外で使う

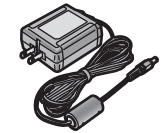
撮ったものを海外で見るには

セットアップメニュー（再生モード）画面から [ビデオ出力] を選んで設定すると、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国・地域と、PAL 方式を採用している国・地域でテレビに接続して見ることができます。

日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

- ●アメリカ合衆国
- ●アンチグア・バーブーダ
- ●イエメン（一部地域）
- ●英領バーミューダ諸島
- ●エクアドル
- ●エルサルバドル
- ●ガイアナ
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グァテマラ
- ●グァム島
- ●グレナダ
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●ジャマイカ
- ●スリナム
- ●セントクリストファー・ネイビス
- ●セントビンセント・グレナディーン諸島
- ●セントルシア
- ●大韓民国
- ●台湾
- ●チリ
- ●ドミニカ共和国
- ●ドミニカ国
- ●トリニダード・トバゴ
- ●ニカラグア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バルバドス
- ●フィジー
- ●フィリピン
- ●プエルトリコ
- ●米領サモア
- ●ベトナム（一部地域）
- ●ベネズエラ
- ●ベリーズ
- ●ペルー
- ●ボリビア
- ●ホンジュラス
- ●マーシャル諸島
- ●マリアナ諸島
- ●ミクロネシア連邦
- ●ミャンマー
- ●メキシコ

■ 別売アクセサリーを使う

品番： DMW-CLS1 **品名：** ソフトケース	 本機を傷やほこりから守ります。
品番： DMW-AC1 **品名：** ACアダプター	

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

パナセンスカスタマーセンター

Pana Sense

TEL:06-6907-9144
http://www.sense.panasonic.co.jp/

メッセージ表示

つづく

確認 / エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
オキシライド電池モードに設定されています	はじめて電池を入れたときや、電池残量がなくなって電池を交換したときなどに、このメッセージが表示されます。 メッセージと使用している電池が異なる場合は、セットアップメニューの [電池設定]（P22）で使用する電池を設定してください。
アルカリ乾電池 / ニッケル水素電池モードに設定されています	
このメモリーカードはプロテクトされています	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。（P17）
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから削除や上書きをしてください。
削除できない画像があります / この画像は削除できません	DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。
設定枚数をこえました	複数削除で一度に設定できる枚数を超えています。一度決定してから、複数削除を続けてください。
この画像には設定できません	DCF 規格に準拠していない画像は DPOF 設定できません。
内蔵メモリー残量が不足しています / メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 ● 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合（一括コピー）、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。

メッセージ	実行していただきたいこと
コピーできない画像がありました / 画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーされません。 ● コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合 ● DCF 規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーされない場合があります。
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか？	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。 本機でフォーマットし直してください。データは消去されます。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	本機では認識できないフォーマットです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマットし直してください。 ※ miniSD™ アダプターに miniSD™ カードを入れずに本機に挿入したときもこの表示が出ます。必ずアダプターに miniSD™ カードを入れてお使いください。
電源を入れ直してください	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。 再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー	カードへのアクセスに失敗しました。 もう一度カードを入れ直してください。
リードエラー	データの読み込みに失敗しました。もう一度再生してください。
ライトエラー	データの書き込みに失敗しました。カードを抜くか、一度電源を [OFF] にしてから、再度 [ON] にして記録してください。またはカードが破壊されている可能性があります。

故障かな？と思ったら

つづく

メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すと、症状が改善する場合があります。
セットアップメニューの [設定リセット] を実行してください。(P22)

■ 電池、電源について

Q（質問）	A（回答）
電池残量がいっぱいなのにすぐに電源が切れる。 **新しい電池を入れても電池残量が少ない。**	[電池設定] は正しくされていますか？ ● セットアップメニューの [電池設定]（P22）をしてください。
電源を [ON] にしても動作しない。	電池は正しく入っていますか？
	ニッケル水素電池をお使いの場合、十分に充電された電池をお使いください。
電源を [ON] にしているのに、液晶モニターが消灯している。	パワーセーブ（P22）またはエコモード（P49）が働いていませんか？ シャッターボタンを半押しして、解除してください。
	電池が消耗していませんか？容量が十分にある電池と交換してください。（ニッケル水素電池をお使いの場合は充電してください）
電源 [ON] 時に、液晶モニターがときどき消える。	フラッシュ撮影直後ですか？フラッシュ充電中は液晶モニターが消灯します。
電源を [ON] にしてもすぐに切れる。	● 電池が消耗していませんか？容量が十分にある電池と交換してください。（ニッケル水素電池をお使いの場合は充電してください） ● 電源を入れたまま放置していても電池は消耗します。パワーセーブ（P22）やエコモード（P49）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？
	内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？撮影する前にいくつかの画像を削除してください。

■ 撮影について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
ピントが合わない。	撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。モードダイヤルを回して、被写体までの距離に応じたモードにしてください。
	ピントが合う範囲から外れていませんか？（P30）
	何度ピントを合わせようとしても合わない場合は、電源を [OFF] にしてから、もう一度 [ON] にしてください。
撮影した写真がぶれている。	日陰や室内などで撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ぶれ補正が有効に働かないことがあります。このようなときは、本機を両手でしっかり持って撮影することをおすすめします。（P28） また、スローシャッター（P61）設定時は、三脚の使用をおすすめします。

■ 液晶モニターについて

Q（質問）	A（回答）
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	液晶モニターの明るさを正しく調整してください。
液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯する。	これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像には影響しません。
液晶モニターに赤っぽい縦じまが出る。	スミアという現象です。これは CCD の特徴であり、異常ではありません。被写体に明るい部分があると出ます。動画撮影では記録されますが、静止画像には影響しません。

■ フラッシュについて

Q（質問）	A（回答）
フラッシュが発光しない。	発光禁止 [] に設定していませんか？フラッシュモードを変更してください。（P36）
	動画撮影モード []、シーンモード（P52）の風景、夜景、花火を選択しているときは、発光しません。

つづく

■ フラッシュについて(つづき)

Q（質問）	A（回答）
フラッシュが2回発光する。	赤目軽減オートにしている場合、1回目の発光は、人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため予備発光します。そのあと、撮影のために再び発光します。

■ 再生について

Q（質問）	A（回答）
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	本機では縦に構えて撮影した画像を自動的に回転して表示する機能があります。 （本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、本機が縦に構えて撮影したと認識する場合があります） ● [回転表示]（P65）を [OFF] にすると画像は回転せずに表示されます。 ● [画像回転]（P66）で画像を回転することができます。
再生できない。	モードダイヤルは再生 [▶] に設定されていますか？
	内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ ● カードが入っていない場合は、内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。（P17）
再生した画像が粗い / ノイズが出る。	ISO 感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？ ● ISO 感度を低くしてください。（P59） ● [画質調整] を [ナチュラル] にしてください。（P62） ● 明るい場所で撮影してください。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。 テレビ画面が流れたり色が付かない。	正しく接続されていますか？
	テレビの入力切換を外部入力にしてください。
	本機の［ビデオ出力］を［NTSC］に設定してください。（P25）
パソコンに接続して画像を転送できない。	正しく接続されていますか？
	パソコンが本機を正常に認識していますか？
	本機の [USB モード] を [PC] に設定してください。（P78）

■ テレビ、パソコン、プリンターについて（つづき）

Q（質問）	A（回答）
パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）	USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で USB 接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	プリンターはPictBridgeに対応していますか？対応していないプリンターではプリントできません。（P81）
	本機の [USB モード] を [PictBridge（PTP）] に設定してください。（P78）
プリントすると、画像の両端が切れる。	記録画素数を [HDTV] に設定していませんか？ ● お店にプリント依頼するときは、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうかお店にお尋ねください。 ● トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください）

■ その他

Q（質問）	A（回答）
メニューの言語が英語の表示になっている。	[MENU] ボタンを押してセットアップメニュー [ ] から [ ] アイコンを選び、言語設定をしてください。
オートレビューの設定ができない。	連写（P43）、オートブラケット撮影（P41）、動画撮影モード [ ]（P50）になっていませんか？これらの設定のときは、セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので異常ではありません。
時計が合っていない。	本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計の設定をしてください。
	時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0 0:00] の日付が記録されます。
画像の周囲に、実際にはない色が付いている。	本機はレンズの特性により、色ずれが起こる場合があります。異常ではありません。

仕様

つづく

電源	DC 3.0 V
消費電力	1.5 W（撮影時） 0.7 W（再生時）

カメラ有効画素数	400 万画素
撮像素子	1/2.5 型 CCD　総画素数 423 万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学 3 倍ズーム f=5.8 ～ 17.4 mm （35 mm フィルムカメラ換算： 35 ～ 105 mm）/　F2.8 ～ 5.0
デジタルズーム	最大 4 倍
フォーカス	通常 / マクロ 5 点 /3 点 /1 点 / スポット
撮影範囲	通常： 50 cm ～∞、 マクロ / かんたん： 5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター

連写撮影	
連写速度	4 コマ / 秒（高速）、2 コマ / 秒（低速）、 約 1.5 コマ / 秒（フリー連写）
連写枚数	最大 7 コマ（スタンダード）、 最大 4 コマ（ファイン）、 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存（フリー連写）
動画撮影	320×240 画素、30 コマ / 秒、 10 コマ / 秒　音声なし
ISO 感度	オート /64/100/200/400
シャッタースピード	8 ～ 1/2,000 秒 動画：1/30 ～ 1/2,000 秒
ホワイトバランス	オート / 晴天 / 曇り / 白熱灯 / セットモード
露出	プログラム AE、露出補正（1/3 EV ステップ、 −2 ～ +2 EV）
測光方式	評価測光
液晶モニター	2.0 型 TFT 液晶 （約 8.5 万画素）（視野率約 100%）
フラッシュ	撮影可能範囲：約 30 cm ～ 4.2 m （W 端、[ISO AUTO] 設定時）
	オート / 赤目軽減オート / 強制発光 （赤目軽減強制）/ 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止

記録メディア	内蔵メモリー /SD メモリーカード / マルチメディアカード
記録画素数 **静止画** **動画**	 2304×1728 画素 /1600×1200 画素 /1280×960 画素 /640×480 画素 /1920×1080 画素 320×240 画素
クオリティ (圧縮率)	ファイン / スタンダード
記録画像ファイル形式 **静止画** **動画**	 JPEG（DCF 準拠、Exif2.2 準拠）/ DPOF 対応 QuickTime Motion JPEG
インターフェース **デジタル** **アナログビデオ**	 USB 2.0（Full Speed） NTSC/PAL コンポジット（メニュー切り換え）
端子 **DIGITAL/ V.OUT** **DC IN**	 専用ジャック（8 pin） タイプ 1 ジャック
寸法	幅 93.5 mm× 高さ 63 mm× 奥行き 30.7 mm（突起部除く）

質量	約 142 g（本体） 約 188 g（電池含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10 %～ 80 %

メモ

さくいん

あ
アクセス表示 18
アルカリ乾電池 11

え
液晶明るさ 23
液晶モニター 26, 85
エコモード 24, 49

お
オートブラケット 41
オートホワイトバランス 57
オートレビュー 23
オキシライド乾電池 11

か
回転表示 65
画質設定 32
画質調整 62
画像回転 66
カラーエフェクト 62
かんたんモード 32

き
逆光補正 33
記録画素数 19, 59
記録枚数 19

く
クオリティ 60

け
言語設定 25

こ
光学ズーム 35
コピー 74

さ
再生ズーム 46
撮影ガイドライン 27

し
シーンメニュー 25
シーンモード 52

す
スタンダード 60
スポーツモード 53
スポット 60
スライドショー 71
スローシャッター 61

せ
設定リセット 24
セットアップメニュー 22
セットモード 57
セルフタイマー 39

そ
操作音 24

つ
通常撮影モード 28
つゆつき 7

て
デジタルズーム 62
手ぶれ 31
手ぶれ補正 42
手ぶれ補正デモ 42
テレビ再生 77
電池 11
電池設定 23

と
動画コマ数 50
動画再生 63
動画撮影モード 50
動作表示ランプ 12, 15, 24
時計設定 20, 24
トリミング 73

な
内蔵メモリー 17

に
ニッケル水素電池 13

は
パーティーモード 55
花火モード 55
パワーセーブ 23
番号リセット 24

ひ
ヒストグラム 27
日付プリント 21, 70, 82
ビデオ出力 25
ピント 30

ふ
ファイル番号 24, 80, 86
ファイン 60
風景モード 53
フォーマット 76
フォルダー番号 24, 80, 86
フラッシュ 36
プリント枚数 82
プロテクト 67

ほ
ポートレートモード 53
ホワイトバランス 57
ホワイトバランス微調整 58

ま
マクロモード 49
マルチ再生 45

や
夜景ポートレートモード 54
夜景モード 54

ゆ
雪モード 55

よ
用紙サイズ 82

り
リサイズ 72

れ
レイアウト 83
レビュー 34
連写 43

ろ
露出 31
露出補正 40

英字
AC アダプター 79, 81
AF/AE ロック 30
AF モード 60
DPOF（ディーポフ） プリント 69
HDTV 59, 77
ISO 感度 59
Mass Storage 78
NTSC 25
PAL 25
PictBridge（ピクトブリッジ） 78, 81
SD スライドショー 71
USB 接続ケーブル 79, 81
USB モード 24, 78, 79, 81

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1年間
「本体」にはソフトウェアの内容は含みません

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	デジタルカメラ
品　番	DMC-LS1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

■ 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
   なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、Ｐ１１０～１１１ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック
お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
☎ (011)894-1251

旭川 旭川市2条通21丁目左1号
☎ (0166)31-6151

帯広 帯広市西19条南1丁目7-11
☎ (0155)33-8477

函館 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
☎ (0138)48-6631

東 北 地 区

青森 青森市第二問屋町3-7-10
☎ (017)739-9712

秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2
☎ (018)826-1600

岩手 盛岡市羽場13地割30-3
☎ (019)639-5120

宮城 仙台市宮城野区扇町7-4-18
☎ (022)387-1117

山形 山形市平清水1丁目1-75
☎ (023)641-8100

福島 福島県安達郡本宮町字南ノ内65
☎ (0243)34-1301

首 都 圏 地 区

栃木 宇都宮市御幸町194-20
☎ (028)689-2555

群馬 高崎市大沢町229-1
☎ (027)352-1109

茨城 つくば市花畑2丁目8-1
☎ (029)864-8756

埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2
☎ (048)728-8960

千葉 千葉市中央区星久喜町172
☎ (043)208-6034

東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
☎ (03)5477-9780

山梨 甲府市宝1丁目4-13
☎ (055)222-5171

神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16
☎ (045)847-9720

新潟 新潟市東明1丁目8-14
☎ (025)286-0171

中 部 地 区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
☎ (076)294-2683

富山 富山市寺島1298
☎ (076)432-8705

福井 福井市開発4丁目112
☎ (0776)54-5606

長野 松本市大字笹賀7600-7
☎ (0263)86-9209

静岡 静岡市西島765
☎ (054)287-9000

名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10
☎ (052)819-0225

岡崎 岡崎市岡町南久保28
☎ (0564)55-5719

岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
☎ (058)323-6010

高山 高山市花岡町3丁目82
☎ (0577)33-0613

三重 久居市森町字北谷1920-3
☎ (059)255-1380

ナショナル パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

近 畿 地 区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1
☎ (077)582-5021

京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4
☎ (075)672-9636

大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7
☎ (06)6359-6225

奈良 大和郡山市筒井町800番地
☎ (0743)59-2770

和歌山 和歌山市中島499-1
☎ (073)475-2984

兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6
☎ (078)272-6645

中 国 地 区

鳥取 鳥取市安長295-1
☎ (0857)26-9695

米子 米子市米原4丁目2-33
☎ (0859)34-2129

松江 松江市平成町182番地14
☎ (0852)23-1128

出雲 出雲市渡橋町416
☎ (0853)21-3133

浜田 浜田市下府町327-93
☎ (0855)22-6629

岡山 岡山県都窪郡早島町矢尾807
☎ (086)292-1162

広島 広島市西区南観音8丁目13-20
☎ (082)295-5011

山口 山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23
☎ (083)986-4050

四 国 地 区

香川 高松市勅使町152-2
☎ (087)868-9477

徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
☎ (088)698-1125

高知 南国市岡豊町中島331-1
☎ (088)866-3142

愛媛 松山市土居田町750-2
☎ (089)971-2144

九 州 地 区

福岡 春日市春日公園3丁目48
☎ (092)593-9036

佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
☎ (0952)26-9151

長崎 長崎市東町1949-1
☎ (095)830-1658

大分 大分市萩原4丁目8-35
☎ (097)556-3815

宮崎 宮崎市本郷北方字草葉2099-2
☎ (0985)63-1213

熊本 熊本市健軍本町12-3
☎ (096)367-6067

天草 本渡市港町18-11
☎ (0969)22-3125

鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33
☎ (099)250-5657

大島 名瀬市長浜町10-1
☎ (0997)53-5101

沖 縄 地 区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

QuickTime およびQuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。
QuickTime は米国および他の国々で登録された商標です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMC-LS1
販売店名	☎（　）		
お客様ご相談窓口	☎（　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

システム事業グループ
〒571-8503　大阪府門真市松葉町2番15号

© 2005 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）All Rights Reserved.

F0205Sq0

Panasonic デジタルカメラ DMC-LS1 取扱説明書